

	誤	正
3.1 参照ファイルの種類 (p. 76)	図書書誌の参照ファイル	図書書誌の参照ファイルに 収集方法を追加
3.1 参照ファイルの種類 (p. 77)	雑誌書誌の参照ファイル	雑誌書誌の参照ファイルに 収集方法を追加
3.1 参照ファイルの種類 (p. 78)	著者名典拠の参照ファイル	著者名典拠の参照ファイルに 収集方法を追加
3.1 参照ファイルの種類 (p. 78)	統一書名典拠の参照ファイル	統一書名典拠の参照ファイルに 収集方法を追加
3.1.1 ファイル検索の優先順位 (p. 78)	<p>■書誌ファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書 <p>JPMARC, TRCMARC, USMARC, USMARCX, GPOMARC, UKMARC, REMARC, DNIMARC, CHMARC, KORMARC, RECON, HBZBKS, SPABKS, ITABKS, KERISB, KERISX</p>	<p>■書誌ファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書 <p>JPMARC, TRCMARC, USMARC, USMARCX, GPOMARC, UKMARC, REMARC, DNIMARC, CHMARC, KORMARC, RECON, HBZBKS, SPABKS, ITABKS, KERISB, KERISX, BNFBS</p>
3.1.1 ファイル検索の優先順位 (p. 78)	<p>■書誌ファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑誌 <p>JPMARCS, USMARCS, SPASER, ITASER, KERISS</p>	<p>■書誌ファイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雑誌 <p>JPMARCS, USMARCS, SPASER, ITASER, KERISS, BNFSE</p>

	誤	正
付.A.2 フィールド一覧 (p. 208)	<u>VLYP : 1号 (昭 32.4) - 100号 (昭 52.3)</u> ① ② ③ ④	<u>VLJR : 1号 (昭 32.4) - 100号 (昭 52.3)</u> ① ② ③ ④
付録.C インデクス作成仕様 PTBTR (p. 267)	また、“△／△”以降でも以下の文字列が出現した場合、語の切り出しを開始する。	また、“△／△”以降でも以下の文字列が出現した場合、“△／△”までの部分について、語の切り出しを開始する。
付録.C インデクス作成仕様 PTBNO (p. 268)	“△／△”までの部分をデリミタごとに語を切り出す。また、“△／△”以降でも以下の文字列が出現した場合、語の切り出しを開始する。	“△／△”までの部分をデリミタごとに語を切り出す。また、“△／△”以降でも以下の文字列が出現した場合、“△／△”までの部分について、語の切り出しを開始する。

更新日：2014/10

	誤	正
付.A.2 フィールド一覧 ■GPON (GPO 番号： Government Printing Office Item Number) (p. 191)	フィールド名 GPO	フィールド名 GPON ※付.A.2 フィールド一覧 参照
■MARC (変更ありフラ グ：Change of Corresponding MARC Record Status) (p. 195)	フィールド名 MARC	フィールド名 MARCFLG ※付.A.2 フィールド一覧 参照
■RECST (更新タイプ： Record Status of MARC Record) (p. 201)	フィールド名 RECST	フィールド名 MARCST ※付.A.2 フィールド一覧 参照

付.A.2 フィールド一覧

■ GPON (GPO 番号 : Government Printing Office Item Number) 略

GPON : 483-E-1 (microfiche)

①

	データ要素	検索キー(画面項目名)
①	GPO 番号(GPON)	なし

GPON には、米国政府印刷局 (GPO) がその刊行物の配布管理を行うために当該刊行物に付与した番号 (GPO 番号) が記録される。

■ MARCFLG (変更ありフラグ : Change of Corresponding MARC Record Status)

MARCFLG : arrived

①

	データ要素	検索キー(画面項目名)
①	変更ありフラグ (MARCFLG)	なし

MARCFLG は、参照ファイル中のレコードから流用入力によって作成されたレコード (総合目録データベース) に表示されることがある。

MARCFLG には、流用元レコードの更新状況が示される。

arrived 流用元レコードは修正されている

deleted 流用元レコードは削除されている

■ MARCST (更新タイプ : Record Status of MARC Record)

MARCST : c

①

	データ要素	検索キー(画面項目名)
①	更新タイプ (MARCST)	なし

MARCST には、参照ファイル中のレコードの更新状況が 1 桁のコードで示される。コードは以下のとおりである。

a 修正レコード (入力レベルの向上)

c 修正レコード (データの追加 / 訂正)

- d 削除レコード
- f 修正レコード(確証された CIP レコード)(UK のみ)
- n 新規レコード
- p 修正レコード(CIP レコードの入力レベルの向上)

修正レコード(入力レベルの向上)(UK のみ)

当該レコードからの流用入力によって総合目録データベース中にレコードが作成されている場合には、上記のコードに応じて、流用先レコードに **MARCFLG** が表示されることがある。

CIP レコードは資料の出版以前に作成されたレコードであり、当該資料の出版後、形態に関する事項等が修正されることが多い。

なお、**MARCST** が「d」のレコードは参照ファイルから削除される。従って、画面に詳細表示されたレコードの **MARCST** に「d」が表示されることはない。

	誤	正
付.B.1 データベース仕様の概要 (p. 211)	<p>●正規化の種類</p> <p>•語頭 / 語尾の特定文字（語頭の「d'」、「l'」、語尾の「s」など）を除去（ただし FTITLE キーは、本正規化処理の対象外とします。）</p>	<p>●正規化の種類</p> <p>•語頭 / 語尾の特定文字（語頭の「d'」、「l'」、「d e l l'」語尾の「s」など）を除去（ただし FTITLE キーは、本正規化処理の対象外とします。）</p>
付.B.2 図書書誌レコードの仕様 ■図書書誌レコードの検索仕様 (p. 214)	TRVR search 欄「-」	TRVR search 欄「○」 ※付.B.2 図書書誌レコードの仕様 参照
■図書書誌レコードの転送仕様 (p. 218)	CNTRY 長さ欄「2」	CNTRY 長さ欄「3」 ※付.B.2 図書書誌レコードの仕様 参照
(p. 219)	ISBNKEY 繰り返し欄「255」	ISBNKEY 繰り返し欄「765」 ※付.B.2 図書書誌レコードの仕様 参照

<p>■ 図書書誌レコード の更新仕様 (p. 221)</p>	<p>ISBN チェック欄 [0-9]{9}[0-9X] {1}、CD</p> <p>LCCN チェック欄 [0-9]{8}</p>	<p>ISBN チェック欄 [0-9]{9}[0-9X]{1},CD または [0-9]{12}[0-9X]{1},CD</p> <p>LCCN チェック欄 [0-9]{7}[0-9X]{1},CD または [0-9]{9}[0-9X]{1},CD</p> <p>※付.B.2 図書書誌レコードの仕様 参照</p>
<p>(p. 222)</p>	<p>CNTRY 長さ欄 「2」</p>	<p>CNTRY 長さ欄 「3」</p> <p>※付.B.2 図書書誌レコードの仕様 参照</p>

付.B.2 図書書誌レコードの仕様

■図書書誌レコードの検索仕様

フィールド	説明	SEARCH	前方一致	正規化	検索キーの再作成	SCAN	備考
ID	書誌レコード ID	○	可	CAP	しない	○	
CRTDT	レコード作成日付	-	-	-	-	○	
CRTFA	レコード作成参加組織 ID	-	-	-	-	○	
RNWDT	レコード更新日付	○	可	-	しない	○	
RNWFA	レコード修正参加組織 ID	-	-	-	-	○	
MARCID	対応 MARC レコード ID	-	-	-	-	-	
SOURCE	元レコード種類(源泉)	-	-	-	-	-	
MARCST	MARC レコードステータス	-	-	-	-	○	
MARCFLG	MARC 更新フラグ	-	-	-	-	○	
(VOLG)	VOL グループ	-	-	-	-	-	
(VOLG)	VOL	巻冊次・製本等	-	-	-	-	○
	ISBN	ISBN	-	-	-	-	○
	PRICE	価格・入手条件	-	-	-	-	○
	XISBN	取消/無効 ISBN	-	-	-	-	○
ISSN	ISSN	-	-	-	-	○	
NBN	全国書誌番号	○	不可	*1	しない	○	
LCCN	LC 管理番号	○	不可	HYPHEN 8 桁補正	しない	○	
NDLCN	NDL カード番号	○	不可	HYPHEN 8 桁補正	しない	○	
GPON	GPO 番号	-	-	-	-	○	
OTHN	その他の番号	-	-	-	-	○	
GMD	一般資料種別コード	-	-	-	-	○	
SMD	特定資料種別コード	-	-	-	-	○	
(YEAR)	刊年フィールドグループ	-	-	-	-	-	
(YEAR)	YEAR1	出版開始年	-	-	-	-	○
	YEAR2	出版終了年	-	-	-	-	○
CNTRY	出版国コード	○	不可	SML	しない	○	
REPRO	複製コード	-	-	-	-	○	
TTLL	本タイトルの言語コード	-	-	-	-	○	
TXTL	本文の言語コード	-	-	-	-	○	
ORGL	原本の言語コード	-	-	-	-	○	
(TR)	TR フィールドグループ	-	-	-	-	-	
(TR)	TRD	本タイトル:タイトル 関連情報/責任表示	-	-	-	-	○
	TRR	本タイトル等の読み	-	-	-	-	○
	TRVR	本タイトル等のその他の読み	○	-	-	-	○
(VT)	VT フィールドグループ	-	-	-	-	-	
(VT)	VTK	その他のタイトルの種類	-	-	-	-	○
	VTD	その他のタイトル	-	-	-	-	○
	VTR	その他のタイトルの読み	-	-	-	-	○

	VTVR	その他のタイトルの その他の読み	-	-	-	-	○	
ED		版に関する事項	-	-	-	-	○	
(PUB)		PUB フィールドグループ	-	-	-	-	-	
(PUB)	PUBP	出版地	-	-	-	-	○	
	PUBL	出版者等表示	-	-	-	-	○	
	PUBDT	出版年月等	-	-	-	-	○	
	PUBF	役割表示	-	-	-	-	○	
(PHYS)		PHYS フィールドグループ	-	-	-	-		
(PHYS)	PHYSP	数量	-	-	-	-	○	
	PHYSI	挿図	-	-	-	-	○	
	PHYSS	大きさ	-	-	-	-	○	
	PHYSA	付随資料	-	-	-	-	○	
NOTE		注記	-	-	-	-	○	
(CW)		CW フィールドグループ	-	-	-	-	-	
(CW)	CWT	内容著作注記のタイトル	-	-	-	-	○	
	CWA	内容著作注記の責任表示	-	-	-	-	○	
	CWR	内容著作注記の読み	-	-	-	-	○	
	CWVR	内容著作注記のタイトルの その他の読み	-	-	-	-	○	
(PTBL)		PTBL フィールドグループ	-	-	-	-	-	
(PTBL)	PTBID	親書誌レコードID	○	可	CAP	しない	○	
	PTBK	構造の種類	-	-	-	-	○	
	PTBTR	親書誌タイトル	-	-	-	-	○	
	PTBTRR	親書誌タイトルの読み	-	-	-	-	○	
	PTBTRVR	親書誌タイトルの その他の読み	-	-	-	-	○	
	PTBNO	番号等	-	-	-	-	○	
(AL)		AL フィールドグループ	-	-	-	-	-	
(AL)	AID	著者名典拠レコードID	○	不可	CAP	しない	○	
	AFLG	主記入フラグ	-	-	-	-	○	
	AHDNG	著者標目形	-	-	-	-	○	
	AHDNGR	著者標目形の読み	-	-	-	-	○	
	AHDNGVR	著者標目形の その他の読み	-	-	-	-	○	
	AF	役割表示	-	-	-	-	○	
(UTL)		UTL フィールドグループ	-	-	-	-	-	
(UTL)	UTID	統一書名典拠レコードID	○	不可	CAP	しない	○	
	UTFLG	主記入フラグ	-	-	-	-	○	
	UTHDNG	統一書名標目形	-	-	-	-	○	
	UTHDNGR	統一書名標目形の読み	-	-	-	-	○	
	UTHDNGVR	統一書名標目形の その他の読み	-	-	-	-	○	
	UTINFO	その他の情報	-	-	-	-	○	
(CLS)		CLS フィールドグループ	-	-	-	-	-	
(CLS)	CLSK	分類表の種類	-	-	-	-	○	
	CLSD	分類	-	-	-	-	○	
(SH)		SH フィールドグループ	-	-	-	-	-	

(SH)	SHT	件名表の種類	-	-	-	-	○	
	SHD	件名	-	-	-	-	○	
	SHK	件名の種類	-	-	-	-	○	
	SHR	件名のヨミ	-	-	-	-	○	
	SHVR	件名のその他のヨミ	-	-	-	-	○	
REM	非転写フィールド	-	-	-	-	○		
ISBNKEY	ISBNA	○	不可	HYPHEN CAP	しない	-		
ISSNKEY	ISSNA	○	不可	HYPHEN CAP	しない	-		
YEARKEY	YEARA	○	可	-	しない	-		
AKEY	短縮キー	○	不可	CAP EXC KCAP	しない	-		
LANGKEY	言語コードキー	○	不可	SML	しない	-		
TITLE		○	-	*2	する	-	仮想検索 フィールド	
TITLEKEY	タイトルキーワード	○	可	HYPHEN KANA EXC CAP KCAP	しない	-		
AUTH		○	-	*2	する	-	仮想検索 フィールド	
AUTHKEY	著者名キーワード	○	可	HYPHEN KANA EXC CAP KCAP	しない	-		
UTHDNG		○	-	*2	する	-	仮想検索 フィールド	
PUBLKEY	出版者名キーワード	○	可	HYPHEN KANA EXC CAP KCAP	しない	-	PUB	
PUBPKEY	出版地名キーワード	○	可	HYPHEN KANA EXC CAP KCAP	しない	-	PLACE	
SHKEY	件名キーワード	○	可	HYPHEN KANA EXC CAP KCAP	しない	-	SH	
DDCKEY	DDC 分類キーワード	○	可	*3	しない	-		
NDCKEY	NDC 分類キーワード	○	可	*3	しない	-		
OTHKEY	その他の番号キーワード	○	不可	HYPHEN CAP	しない	-		
FTITLEKEY	フルタイトルキー	○	可	DELIM KANA EXC CAP KCAP	しない	-		
IDENT	アイデンティファイア	-	-	-	-	○		

- *1 HYPHEN 先頭が JP の場合、10 桁補正 CAP。
- *2 再作成する検索キーの正規化と同じ正規化を行う。
- *3 “/”削除/ (ピリオド)以前が 3 桁未満の場合、先頭から 0 を詰めて 3 桁に補正。
- *4 URL などのアイデンティファイアとなる情報。

■図書書誌レコードの転送仕様

フィールド	説明	属性	データ長	繰り返し	Edit-Type=1	Edit-Type=2	旧 CAT フィールド名	
DBNAME*1	収録 DB 名	VARCHAR	12	1	○	○	画面上方に表示	
ID	書誌レコード ID	CHAR	10	1	○	○	<>	
CRTDT	レコード作成日付	VARCHAR	8	1	-	○	CRTDT	
CRTFA	レコード作成参加組織 ID	CHAR	8	1	-	○	CRTFA	
RNWDT	レコード更新日付	VARCHAR	8	1	-	○	RNWDT	
RNWFA	レコード修正参加組織 ID	CHAR	8	1	-	○	RNWFA	
MARCID	対応 MARC レコード ID	CHAR	10	1	-	-	-	
SOURCE	元レコード種類(源泉)	VARCHAR	3	1	-	-	-	
MARCST	MARC レコードステータス	CHAR	1	1	-	○	RECST	
MARCFLG	MARC 更新フラグ	VARCHAR	7	1	-	○	MARC	
(VOLG)	VOL グループ	-	-	255	○	○	VOL	
(VOLG)	VOL	巻冊次製本等	VARCHAR	256	1	○	○	VOL
	ISBN	ISBN	VARCHAR	32	1	-	○	ISBN
	PRICE	価格入手条件	VARCHAR	64	1	-	○	PRICE
	XISBN	取消無効 ISBN	VARCHAR	32	7	-	○	XISBN
ISSN	ISSN	VARCHAR	32	1	-	○	ISSN	
NBN	全国書誌番号	VARCHAR	32	255	-	○	NBN	
LCCN	LC 管理番号	VARCHAR	16	1	-	○	LCCN	
NDLCN	NDL カード番号	VARCHAR	16	255	-	○	NDLCN	
GPON	GPO 番号	VARCHAR	16	1	-	○	GPON	
OTHN	その他の番号	VARCHAR	24	255	-	○	OTHN	
GMD	一般資料種別コード	CHAR	1	1	○	○	GMD	
SMD	特定資料種別コード	CHAR	1	1	-	○	SMD	
(YEAR)	刊年フィールドグループ	-	-	1	-	○	YEAR	
(YEAR)	YEAR1	出版開始年	CHAR	4	1	-	○	YEAR
	YEAR2	出版終了年	CHAR	4	1	-	○	YEAR
CNTRY	出版国コード	VARCHAR	3	1	-	○	CNTRY	
REPRO	複製コード	CHAR	1	1	-	○	REPRO	
TTLL	本タイトルの言語コード	VARCHAR	3	1	-	○	TTLL	
TXTL	本文の言語コード	VARCHAR	24	1	-	○	TXTL	
ORGL	原本の言語コード	VARCHAR	24	1	-	○	ORGL	
(TR)	TR フィールドグループ	-	-	1	○	○	TR	
(TR)	TRD	本タイトル:タイトル関連情報/責任表示	VARCHAR	1024	1	○	○	TR
	TRR	本タイトル等の読み	VARCHAR	1024	1	-	○	TR
	TRVR	本タイトル等のその他の読み	VARCHAR	1024	1	-	○	TR
(VT)	VT フィールドグループ	-	-	16	-	○	VT	
(VT)	VTK	その他のタイトルの種類	CHAR	2	1	-	○	VT

	VTD	その他のタイトル	VARCHAR	1024	1	-	○	VT
	VTR	その他のタイトルの読み	VARCHAR	1024	1	-	○	VT
	VTVR	その他のタイトルの その他の読み	VARCHAR	1024	1	-	○	VT
ED		版に関する事項	VARCHAR	512	1	○	○	ED
(PUB)		PUB フィールドグループ	-	-	4	○	○	PUB
(PUB)	PUBP	出版地	VARCHAR	254	1	-	○	PUB
	PUBL	出版者等表示	VARCHAR	254	1	○	○	PUB
	PUBDT	出版年月等	VARCHAR	254	1	○	○	PUB
	PUBF	役割表示	CHAR	1	1	-	○	PUB
(PHYS)		PHYS フィールドグループ	-	-	1	-	○	PHYS
(PHYS)	PHYSP	数量	VARCHAR	254	1	-	○	PHYS
	PHYSI	挿図	VARCHAR	254	1	-	○	PHYS
	PHYSS	大きさ	VARCHAR	254	1	-	○	PHYS
	PHYSA	付随資料	VARCHAR	254	1	-	○	PHYS
NOTE		注記	VARCHAR	1024	16	-	○	NOTE
(CW)		CW フィールドグループ	-	-	128	-	○	CW
(CW)	CWT	内容著作注記のタイトル	VARCHAR	1024	1	-	○	CW
	CWA	内容著作注記の責任表示	VARCHAR	256	1	-	○	CW
	CWR	内容著作注記の タイトルの読み	VARCHAR	256	1	-	○	CW
	CWVR	内容著作注記のタイトルの その他の読み	VARCHAR	256	1	-	○	CW
(PTBL)		PTBL フィールドグループ	-	-	4	○	○	PTBL
(PTBL)	PTBID	親書誌レコードID	CHAR	10	1	-	○	PTBL
	PTBK	構造の種類	VARCHAR	8	1	-	○	PTBL
	PTBTR	親書誌タイトル	VARCHAR	1024	1	○	○	PTBL
	PTBTRR	親書誌タイトルの読み	VARCHAR	1024	1	-	○	PTBL
	PTBTRVR	親書誌タイトルの その他の読み	VARCHAR	1024	1	-	○	PTBL
	PTBNO	番号等	VARCHAR	4000	1	○	○	PTBL
(AL)		AL フィールドグループ	-	-	24	-	○	AL
(AL)	AID	著者名典拠レコードID	CHAR	10	1	-	○	AL
	AFLG	主記入フラグ	CHAR	1	1	-	○	AL
	AHDNG	著者標目形	VARCHAR	254	1	-	○	AL
	AHDNGR	著者標目形の読み	VARCHAR	254	1	-	○	AL
	AHDNGVR	著者標目形の その他の読み	VARCHAR	254	1	-	○	AL
	AF	役割表示	VARCHAR	254	1	-	○	AL
(UTL)		UTL フィールドグループ	-	-	255	-	○	UTL
(UTL)	UTID	統一書名典拠レコードID	CHAR	10	1	-	○	UTL
	UTFLG	主記入フラグ	CHAR	1	1	-	○	UTL
	UTHDNG	統一書名標目形	VARCHAR	254	1	-	○	UTL
	UTHDNGR	統一書名標目形の読み	VARCHAR	254	1	-	○	UTL
	UTHDNGVR	統一書名標目形の その他の読み	VARCHAR	254	1	-	○	UTL
	UTINFO	その他の情報	VARCHAR	254	1	-	○	UTL
(CLS)		分類フィールドグループ	-	-	24	-	○	CLS

(CLS)	CLSK	分類表の種類	VARCHAR	6	1	-	○	CLS
	CLSD	分類	VARCHAR	32	1	-	○	CLS
(SH)		件名フィールドグループ	-	-	24	-	○	SH
(SH)	SHT	件名表の種類	VARCHAR	7	1	-	○	SH
	SHD	件名	VARCHAR	254	1	-	○	SH
	SHK	件名の種類	CHAR	1	1	-	○	SH
	SHR	件名のヨミ	VARCHAR	254	1	-	○	SH
	SHVR	件名のその他のヨミ	VARCHAR	254	1	-	○	SH
REM		非転写フィールド	VARCHAR	1024	1	-	○	REM
ISBNKEY		ISBN キーワード	VARCHAR	32	765	-	-	-
ISSNKEY		ISSN キーワード	VARCHAR	32	1	-	-	-
YEARKEY		YEAR キーワード	CHAR	4	2	-	-	-
AKEY		短縮キー	VARCHAR	32	2	-	-	-
LANGKEY		言語コードキー	VARCHAR	3	12	-	-	-
TITLEKEY		タイトルキーワード	VARCHAR	32	512	-	-	-
AUTHKEY		著者名キーワード	VARCHAR	32	512	-	-	-
PUBLKEY		出版者名キーワード	VARCHAR	32	32	-	-	-
PUBPKY		出版地名キーワード	VARCHAR	32	32	-	-	-
SHKEY		件名キーワード	VARCHAR	32	255	-	-	-
DDCKEY		DDC 分類キーワード	VARCHAR	32	3	-	-	-
NDCKEY		NDC 分類キーワード	VARCHAR	32	3	-	-	-
OTHKEY		その他の番号キーワード	CHAR	32	255	-	-	-
FTITLEKEY		フルタイトルキー	VARCHAR	32	2	-	-	-
IDENT		アイデンティファイア	VARCHAR	1024	16	-	○	-

*1 仮想フィールド

■ 図書書誌レコードの更新仕様

フィールド	説明	INSERT	UPDATE	属性	データ長	繰り返し	フィールド編集	正規化	チェック
ID *1	書誌レコード ID	S	M	CHAR	10	1	-	CAP	UPDATE 時 存在チェック
CRTDT	レコード作成日付	S	X	-	-	-	-	-	-
CRTFA	レコード作成参加組織 ID	S	X	-	-	-	-	-	-
RNWDT	レコード更新日付	S	S	-	-	-	-	-	-
RNWFA	レコード修正参加組織 ID	S	S	-	-	-	-	-	-
MARCID *2	対応 MARC レコード ID	C	X	CHAR	10	1	-	CAP	-
SOURCE	元レコード種類(源泉)	M	X	VARCHAR	3	1	-	CAP	code ("GPO", "JP", "TRC", "UK", "LC", "LCX", "ORG", "DN", "CH", "KR",

										"RE", "RLG", "OCL", "KER", "KAN", "HBZ", "CAL")
MARCST *3	MARC レコード ステータス	X	X	-	-	-	-	-	-	-
MARCFLG	MARC 更 新 フラグ	X	X	-	-	-	-	-	-	-
VOLG	group- name	O	O	-	-	255	-	-	-	-
(VOLG)	VOL	巻冊次・製 本等	A	A	VARCHAR	256	1	-	-	-
	ISBN	ISBN	A	A	VARCHAR	32	1	'-'削除	CAP	[0-9]{9}[0-9X]{1}.CD または [0-9]{12}[0-9X]{1}.CD
	PRICE	価格・入手 条件	A	A	VARCHAR	64	1	-	-	-
	XISBN	取消・無効 ISBN	A	A	VARCHAR	32	7	-	CAP	-
ISSN	ISSN	O	O	VARCHAR	32	1	'-'削除	CAP	[0-9]{7}[0-9X]{1}.CD	
NBN *4	全国書誌 番号	O	O	VARCHAR	32	255	'-'削 除、10 桁補正	CAP		
LCCN *5	LC カード 番号	O	O	VARCHAR	16	1	'-'削 除、8 桁補正	-	[0-9]{7}[0-9X]{1}.CD または [0-9]{9}[0-9X]{1}.CD	
NDLCN *5	NDL カード	O	O	VARCHAR	16	255	'-'削 除、8 桁補正	-	[0-9a-zA-Z]{8}	
GPON	GPO 番号	O	O	VARCHAR	16	1	-	CAP	-	
OTHN	その他の 番号	O	O	VARCHAR	24	255	-	CAP	-	
GMD	一般資料 種別コード	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code 資料種別コード表を参照	
SMD	特定資料 種別コード	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code、GMD との関連資料種別コード表 を参照	
YEAR	group- name	O	O	-	-	1	-	-	-	
(YEAR)	YEAR1	出版開始 年	M	M	CHAR	4	1	-	-	[-0-9]{4}、0 以上現在年+1 以下(チェッ ク時 "-" は "0" に置き換える。)
	YEAR2	出版終了 年	O	O	CHAR	4	1	-	-	[-0-9]{4}、0 以上現在年+1 以下(チェッ ク時 "-" は "0" に置き換える。)
CNTRY	出版国コ ード	O	O	VARCHAR	3	1	-	SML	code 出版国コード表を参照	
REPRO	複製コード	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code 複製コード表を参照	
TTL	本タイト ルの言語 コード	M	M	VARCHAR	3	1	-	SML	code 言語コード表を参照	
TXTL *6	本文の言 語コード	M	M	VARCHAR	24	1	-	SML	code 言語コード表を参照	
ORGL *6	原本の言 語コード	O	O	VARCHAR	24	1	-	SML	code 言語コード表を参照	
TR	group- name	M	M	-	-	1	-	-	-	

(TR)	TRD	本タイトル: タイトル関 連情報/ 責任表示	M	M	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	TRR	本タイトル 等の読み	O	O	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	TRVR	本タイトル 等の その他の 読み	O	O	VARCHAR	1024	1	-	-	-
VT		group- name	O	O	-	-	16	-	-	-
(VT)	VTK	その他のタ イトルの種 類	M	M	CHAR	2	1	-	CAP	code タイトル種類コード表を参照
	VTD	その他のタ イトル	M	M	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	VTR	その他のタ イトルの読 み	O	O	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	VTVR	その他のタ イトルの その他の 読み	O	O	VARCHAR	1024	1	-	-	-
ED		版に関する 事項	O	O	VARCHAR	512	1	-	-	-
PUB		group- name	M	M	-	-	4	-	-	-
(PUB)	PUBP	出版地	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PUBL	出版者等 表示	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PUBDT	出版年月 等	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PUBF*7	役割表示	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code("m")
PHYS		group- name	O	O	-	-	1	-	-	-
(PHYS)	PHYSP	数量	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PHYSI	挿図	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PHYSS	大きさ	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PHYSA	付随資料	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
NOTE		注記	O	O	VARCHAR	1024	16	-	-	-
CW		group- name	O	O	-	-	128	-	-	-
(CW)	CWT	内容著作 注記のタイ トル	M	M	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	CWA	内容著作 注記の 責任表示	O	O	VARCHAR	256	1	-	-	-
	CWR	内容著作 注記の タイトルの 読み	O	O	VARCHAR	256	1	-	-	-
	CWVR	内容著作 注記の タイトルの	O	O	VARCHAR	256	1	-	-	-

		その他の読み								
PTBL		group-name	O	O	-	-	4	-	-	-
(PTBL)	PTBID	親書誌レコード ID	M	M	CHAR	10	1	-	CAP	BOOK、RECON に対して存在チェック
	PTBK*8	構造の種類	D	D	VARCHAR	8	1	-	SML	code 構造の種類コード表を参照
	PTBTR	親書誌タイトル	S	S	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	PTBTRR	親書誌タイトルの読み	S	S	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	PTBTRVR	親書誌タイトルのその他の読み	S	S	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	PTBNO	番号等	O	O	VARCHAR	4000	1	-	-	-
AL		group-name	O	O	-	-	24	-	-	-
(AL)	AID	著者名典拠レコード ID	A	A	CHAR	10	1	-	CAP	NAME に対して存在チェック
	AFLG	主記入フラグ	O	O	CHAR	1	1	-	-	code 主記入フラグコード表を参照
	AHDNG*9	著者標目形	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	AHDNGR*9	著者標目形の読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
	AHDNGVR*9	著者標目形のその他の読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
	AF	役割表示	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
UTL		group-name	O	O	-	-	255	-	-	-
(UTL)	UTID	統一書名典拠レコード ID	A	A	CHAR	10	1	-	CAP	TITLE に対して存在チェック
	UTFLG	主記入フラグ	O	O	CHAR	1	1	-	-	code 主記入フラグコード表を参照
	UTHDNG*10	統一書名標目形	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	UTHDNGR*10	統一書名標目形の読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
	UTHDNGVR*10	統一書名標目形のその他の読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
	UTINFO	その他の情報	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
CLS		group-name	O	O	-	-	24	-	-	-
(CLS)	CLSK	分類表の種類	M	M	VARCHAR	6	1	-	CAP	code 主題関係のコード表の分類表の種類コード表を参照
	CLSD	分類	M	M	VARCHAR	32	1	-	-	-

SH		group-name	O	O	-	-	24	-	-	-
(SH)	SHT	件名表の種類	M	M	VARCHAR	7	1	-	CAP	code 主題関係のコード表 の件名標目表の種類コード表を参照
	SHD	件名	M	M	VARCHAR	254	1	-	-	-
	SHK	件名の種類	D	D	CHAR	1	1	-	CAP	code 主題関係のコード表 の件名標目表の種類コード表を参照
	SHR	件名のヨミ	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
	SHVR	件名のその他のヨミ	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
REM *11		非転写フィールド	X	X	-	-	-	-	-	-
ISBNKEY *12		ISBN キー	S	S	-	-	-	-	-	-
ISSNKEY *13		ISSN キー	S	S	-	-	-	-	-	-
YEARKEY *14		YEAR キー	S	S	-	-	-	-	-	-
AKEY *15		短縮キー	S	S	-	-	-	-	-	-
LANGKEY *16		言語コードキー	S	S	-	-	-	-	-	-
TITLEKEY *17		タイトルキーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
AUTHKEY *18		著者名キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
PUBLKEY *19		出版者名キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
PUBPKEY *20		出版地名キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
SHKEY *21		件名キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
DDCKEY *22		DDC 分類キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
NDCKEY *23		NDC 分類キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
OTHKEY *24		その他の番号キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
FTITLEKEY *25		フルタイトルキー	S	S	-	-	-	-	-	-
IDENT		アイデンティファイア	O	O	VARCHAR	1024	16	-	-	-

- *1 UPDATE 時は ID をキーとして、レコードが更新される。
- *2 SOURCE=ORG 以外の場合、必須。
- *3 JPMARC、USMARC 専用フィールド。
- *4 先頭が"JP"で、10 桁以内の場合、左から 4 桁目と 5 桁目の間に"0"を詰めて 10 桁に補正。
- *5 8 桁以内の場合、左から 2 桁目と 3 桁目の間に"0"を詰めて 8 桁に補正。
- *6 コードを連結して記入する。
- *7 制作等に関する事項のとき'm'。従来は'()'で囲んでいた。
- *8 デフォルト="a"。
コードを連結して入力することも可能(例:ab、bb、aab)。
- *9 AID がある場合はシステムがセット。
- *10 UTID がある場合はシステムがセット。
- *11 JPMARC、TRCMARC、USMARC、USMARCX、GPOMARC、UKMARC 専用フィールド。
- *12 ISBN、XISBN からシステムが作成。ISBNKEY 作成仕様を参照。

- *13 ISSN からシステムが作成。ISSNKEY 作成仕様を参照。
- *14 YEAR1、YEAR2 からシステムが作成。YEARKEY 作成仕様を参照。
- *15 TRD、TRDD からシステムが作成。AKEY 作成仕様を参照。
- *16 TTLL、TXTL、ORGL からシステムが作成。LANGKEY 作成仕様を参照。
- *17 TRD、TRR、VTD、VTR、etc.からシステムが作成。TITLEKEY 作成仕様を参照。
- *18 TRD、VTD、AHDNG、AHDNGR からシステムが作成。AUTHKEY 作成仕様を参照。
- *19 PUBL からシステムが作成。PUBLKEY 作成仕様を参照。
- *20 PUBP からシステムが作成。PUBPKEY 作成仕様を参照。
- *21 SHD、SHR からシステムが作成。SHKEY 作成仕様を参照。
- *22 CLSD からシステムが作成。DDCKEY 作成仕様を参照。
- *23 CLSD からシステムが作成。NDCKEY 作成仕様を参照。
- *24 OTHN からシステムが作成。OTHNKEY 作成仕様を参照。
- *25 TRD、TRR からシステムが作成。FTITLEKEY 作成仕様を参照。

	誤	正
付.B.3 図書所蔵レコードの仕様 (p. 226)		<p>■図書所蔵レコードの検索仕様 追加</p> <p>■図書所蔵レコードの転送仕様 追加</p> <p>■図書所蔵レコードの更新仕様内、以下の項目追加</p> <p>_KENCODE_ _SETCODE_ _ORGCODE_ _ILLFLG_ _COPYS_ _LOANS_ _FAXS_ _STAT_ _GRPCODE_ LOCKEY</p> <p>※付.B.3 図書所蔵レコードの仕様 参照</p>

付.B.3 図書所蔵レコードの仕様

■ 図書所蔵レコードの検索仕様

追加

SEARCH メソッド(CATP 仕様書 4.4)と SCAN メソッド(CATP 仕様書 4.6)の Object-Body 内の Tag について示す。

SEARCH に○がついている場合、そのフィールド名が SEARCH メソッドで使用可能。

SCAN に○がついている場合、そのフィールド名が SCAN メソッドで使用可能。

また、参考として、旧 CAT システムでの検索・簡略表示画面でのフィールド名として 何に相当しているかも併せて掲載している。

正規化：サーバで検索キーを受け取った際に行う正規化の内容

- 以下の正規化は全ての検索キーに対して行う。
 - 2バイト英数字→1バイト英数字
 - 1バイトカナ→2バイトカナ
 - 検索キーの32文字化(33文字以上の長さの検索キーに対して、33文字以降の文字を切捨てる)
 - 語頭/語尾の特定文字(語頭の「D」「L」、語尾の「S」)の除去
ただし、FTITLE キーはこの正規化処理の対象外とする。
- 以下の正規化はフィールド毎に異なる
 - CAP: 大文字化(ローマ字、キリル文字、ギリシャ文字)
 - KCAP: カナ大文字化(拗音、促音の大文字化)
 - SML: 小文字化(ローマ字、キリル文字、ギリシャ文字)
 - HYPHEN: “-”(ハイフン)、“ー”(長音)、マイナス、ダッシュの除去
 - DELIM: 踊り文字、デリミタの除去
 - KANA: 平仮名⇒カタカナ
 - EXC: EXC 文字を対応するローマ字に変換

フィールド名	フィールド説明	search	前方一致	正規化	検索キーの再作成	scan	旧 CAT フィールド名	
ID	所蔵レコード ID	○	可	CAP	しない	○		
CRTDT	レコード作成日付	-	-	-	-	○		
RNWDT	レコード修正日付	○	可	しない	しない	○		
BID	NC 書誌レコード ID	○	不可	CAP	しない	○		
FANO	参加組織レコード ID	○	不可	CAP	しない	○	MLID	
LIBABL	略称	-	-	-	-	-		
LOC	配置コード	-	-	-	-	○	LOC	
(HOLD)	所蔵グループ	-	-	-	-	-		
(HOLD)	VOL	巻冊次製本等	-	-	-	-	○	
	CLN	請求記号	-	-	-	-	○	
	RGTN	登録番号	-	-	-	-	○	
	CPYR	コピーの出版年	-	-	-	-	○	
	LDF	図書館定義フィールド	-	-	-	-	○	
	CPYNT	コピーノートフィールド	-	-	-	-	○	
LTR	ローカルトレーシング	-	-	-	-	○		
KENCODE	県コード	-	-	-	-	○		
SETCODE	設置者種別	-	-	-	-	○		
ORGCODE	機関種別	-	-	-	-	○		
ILLFLG	ILL 参加種別	-	-	-	-	○		
COPYS	複写サービス種別	-	-	-	-	○		
LOANS	貸借サービス種別	-	-	-	-	○		
FAXS	FAX サービス種別	-	-	-	-	○		
STAT	サービスステータス	-	-	-	-	○		

GRPCODE	料金相殺グループコード	-	-	-	-	○	
LOCKEY	参加組織・配置コードキーワード	○	-	-	-	-	

■図書所蔵レコードの転送仕様

追加

BHOLD に対して、SEARCH,RETRIEVE,INSERT,UPDATE メソッドの Response で転送されるフィールドとその形式を示す。
Edit-Type=9 では全てのフィールドを転送する。

データ長

- データ長は文字数で表す。

フィールド名	フィールド説明	属性	長さ	繰り返し	Edit-Type=1	Edit-Type=2	旧 CAT フィールド名	備考	
DBNAME	収録 DB 名	VARCHAR	12*	1	○	○	-	仮想フィールド BHOLD をセットする。 *1998.11.27 修正	
ID	所蔵レコード ID	CHAR	12	1	○	○	<>		
CRTDT	レコード作成日付	VARCHAR	8	1	-	○	CRTDT		
RNWDT	レコード修正日付	VARCHAR	8	1	-	○	RNWDT		
BID	NC 書誌レコード ID	CHAR	10	1	-	○	<>		
FANO	参加組織レコード ID	CHAR	8	1	○	○	<>		
LIBABL	略称	VARCHAR	254	1	○	○	tag 等なしで表示		
LOC	配置コード	VARCHAR	20	1	○	○	LOC		
(HOLD)	所蔵グループ	-	-	255	-	○	-		
(HOLD)	VOL	巻冊次等	VARCHAR	256	1	-	○	VOL	
	CLN	請求記号	VARCHAR	254	1	-	○	CLN	
	RGTN	登録番号	VARCHAR	254	1	-	○	RGTN	
	CPYR	コピーの出版年	VARCHAR	8	1	-	○	CPYR	
	LDF	図書館定義フィールド	VARCHAR	1024	1	-	○	LDF	
CPYNT	コピーノートフィールド	VARCHAR	1024	1	-	○	CPYNT		
LTR	ローカルトレーシング	VARCHAR	1024	4	-	○	LTR		
KENCODE	県コード	VARCHAR	24	1	-	-	-	仮想フィールド FANO に対する参加組織レコード中の情報	
SETCODE	設置者種別	CHAR	1	1	-	-	-		
ORGCODE	機関種別	CHAR	1	1	-	-	-		
ILLFLG	ILL 参加種別	CHAR	1	1	-	-	-		
COPYS	複写サービス種別	CHAR	1	1	-	-	-		
LOANS	貸借サービス種別	CHAR	1	1	-	-	-		
FAXS	FAX サービス種別	CHAR	1	1	-	-	-		
STAT	サービスステータス	CHAR	1	1	-	-	-		
GRPCODE	料金相殺グループコード	CHAR	1	5	-	-	-		
LOCKEY	参加組織・配置コードキーワード	VARCHAR	28	1	-	-	-		

■図書所蔵レコードの更新仕様

フィールド	説明	INSERT	UPDATE	DELETE	属性	データ長	繰り返し	フィールド編集	正規化	チェック	
ID *1	所蔵レコードID	S	M	M	CHAR	12	1	-	CAP	UPDATE 時存在チェック	
CRTDT	レコード作成日付	S	X	X	-	-	-	-	-	-	
RNWDT	レコード修正日付	S	S	X	-	-	-	-	-	-	
BID *2 *4	NC 書誌レコードID	M	M	X	CHAR	10	1	-	CAP	BOOK,RECON に対して存在チェック	
FANO *2 *4	参加組織レコードID	M	M	X	CHAR	8	1	-	CAP	MEMBER に対して存在チェック、GETHANDLE 時の UID で権限チェック、UPDATE,DELETE 時は更新前の FA の値でも権限チェック	
LIBABL *3	略称	S	S	X	-	-	-	-	-	-	
LOC *2 *4	配置コード	M	M	X	VARCHAR	20	1	-	-	FANO を元に MEMBER の LOC に存在するかチェック	
(HOLD)	所蔵グループ	O	O	X	-	-	255	-	-	-	
(HOLD)	VOL	巻冊次等	A	A	X	VARCHAR	256	1	-	-	-
	CLN	請求記号	A	A	X	VARCHAR	254	1	-	-	-
	RGTN	登録番号	A	A	X	VARCHAR	254	1	-	-	-
	CPYR	刷の出版年	A	A	X	VARCHAR	8	1	-	-	-
	LDF	図書館定義フィールド	A	A	X	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	CPYNT	刷の注記	A	A	X	VARCHAR	1024	1	-	-	-
LTR	ローカルレーシング	O	O	X	VARCHAR	1024	4	-	-	-	
KENCODE	県コード	X	X	X	VARCHAR	24	1	-	-	-	
SETCODE	設置者種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-	
ORGCODE	機関種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-	
ILLFLG	ILL 参加種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-	
COPYS	複写サービス種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-	
LOANS	貸借サービス種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-	
FAXS	FAX サービス種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-	
STAT	サービスステータス	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-	
GRPCODE	料金相殺グループコード	X	X	X	CHAR	1	5	-	-	-	



LOCKEY	参加組 織・配置コ ードキー ワード	X	X	X	VARCHAR	28	1	-	-	-
--------	-----------------------------	---	---	---	---------	----	---	---	---	---

*1 UPDATE、DELETE 時は ID をキーとして、レコードが更新される。

DELETE 時は、REQUEST-HEADER の DELETE-RECORD-ID として指定する。

*2 INSERT、UPDATE 時に、BID+FANO+LOC でデータベースをチェックし、同一のものが既に存在する場合は登録できない。

*3 FANO の値を元にシステムがセット。

*4 従来の空値は“@”としてデータをやりとりする。

INSERT、UPDATE 時に、BID+FANO+LOC でデータベースをチェックし、同一のものが既に存在する場合は登録できない。

	誤	正
付.B.4 雑誌書誌レコードの仕様 ■雑誌書誌レコードの更新仕様 (p. 233)	SOURCE チェック欄 「"JP", "LC", "ORG" LCCN チェック欄 [0-9]{8} ULPN 正規化欄 「CAP」	SOURCE チェック欄 「"JP", "LC", "ORG" "BL", "OCL", "RLG", "KER", "HBZ", "CAL", "ITA", "SPA" LCCN チェック欄 [0-9]{7}[0-9X]{1}, CD または [0-9]{9}[0-9X]{1}, CD ULPN 正規化欄 「CAP、 KANA」 ※付.B.4 雑誌書誌レコードの仕様 参照
(p. 234)	CNTRY 属性欄 「CHAR」	CNTRY 属性欄 「VARCHAR」 ※付.B.4 雑誌書誌レコードの仕様 参照
(p. 235)	AID 正規化欄 「-」	AID 正規化欄 「CAP」 ※付.B.4 雑誌書誌レコードの仕様 参照

付.B.4 雑誌書誌レコードの仕様

■雑誌書誌レコードの検索仕様 ~略~

■雑誌書誌レコードの転送仕様 ~略~

■雑誌書誌レコードの更新仕様

フィールド	説明	INSERT	UPDATE	属性	データ長	繰り返し	フィールド編集	正規化	チェック	
ID *1	書誌レコードID	S	M	CHAR	10	1	-	CAP	UPDATE 時存在チェック	
CRTDT	レコード作成日付	S	X	-	-	-	-	-	-	
RNWDT	レコード更新日付	S	S	-	-	-	-	-	-	
MARCID *2	対応 MARC レコードID	C	X	CHAR	10	1	-	CAP	-	
SOURCE	元レコード種類(源泉)	M	X	VARCHAR	3	1	-	CAP	Code ("JP","LC","ORG","BL", "OCL","RLG","KER","HBZ", "CAL","ITA","SPA")	
MARCST *3	MARC レコードステータス	X	X	-	-	-	-	-	-	
MARCFLG	MARC 更新フラグ	X	X	-	-	-	-	-	-	
ISSN	ISSN	O	O	VARCHAR	32	1	"-"削除	CAP	[0-9]{7}[0-9X]{1},CD	
XISSN	取消/無効ISSN	O	O	VARCHAR	32	8	-	CAP	-	
LCCN *4	LC カード番号	O	O	VARCHAR	16	1	"-"削除 8桁補正。	-	[0-9]{7}[0-9X]{1},CD または [0-9]{9}[0-9X]{1},CD	
NLDPN	NDL 雑誌番号	O	O	VARCHAR	16	1	"-"削除	-	[0-9a-zA-Z]	
GPON	GPO 番号	O	O	VARCHAR	16	1	-	CAP	-	
CODEN	CODEN	O	O	VARCHAR	16	1	-	CAP	[0-9A-Z]{5,6}	
ULPN	ULP 番号	O	O	VARCHAR	16	1	-	CAP, KANA	[0-9A-Zキ]{6,10}	
GMD	一般資料種別コード	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code 資料種別コード表を参照	
SMD	特定資料種別コード	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code、GMD との関連資料種別コード表を参照	
PSTAT	出版状況コード	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code 出版状況コード表を参照	
YEAR	group-name	O	O	-	-	1	-	-	-	
(YEAR)	YEAR1	出版開始年	M	M	CHAR	4	-	-	-	[-0-9]{4}, 0 以上現在年+1 以下(チェック時は"-"は"0"に置き換える)
	YEAR2	出版終了年	O	O	CHAR	4	1	-	-	[-0-9]{4}, 0 以上現在年+1 以下(チェック時は"-"は"0"に置き換える)

CNTRY	出版国コード	O	O	VARCHAR	2	1	-	SML	code 出版国コード表を参照	
FREQ	刊行頻度コード	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code 刊行頻度コード表を参照	
REGL	定期性コード	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code 定期性コード表を参照	
TYPE	逐次刊行物の タイプコード TYPE	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code 逐次刊行物コード表を参照	
REPRO	複製コード	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code 複製コード表を参照	
TTL	本タイトルの言 語コード	M	M	VARCHAR	3	1	-	SML	code 言語コード表を参照	
TXTL *5	本文の言語コ ード	M	M	VARCHAR	24	1	-	SML	code 言語コード表を参照	
ORGL *5	原本の言語コ ード	O	O	VARCHAR	24	1	-	SML	code 言語コード表を参照	
TR	group-name	M	M	-	-	1	-	-	-	
(TR)	TRD	本タイトル:タイ トル関連情報/ 責任表示	M	M	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	TRR	本タイトル等の 読み	O	O	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	TRVR	本タイトル等の その他の読み	O	O	VARCHAR	1024	1	-	-	-
VT	group-name	O	O	-	-	16	-	-	-	
(VT)	VTK	その他のタイト ルの 種類	M	M	CHAR	2	1	-	CAP	code タイトル種類語コード表を参照
	VTD	その他のタイト ル	M	M	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	VTR	その他のタイト ルの読み	O	O	VARCHAR	1024	1	-	-	-
	VTVR	その他のタイト ルの その他の読み	O	O	VARCHAR	1024	1	-	-	-
ED	版に関する事 項	O	O	VARCHAR	512	1	-	-	-	
VLYR	巻次年月次	O	O	VARCHAR	1024	4	-	-	-	
PUB	group-name	M	M	-	-	4	-	-	-	
(PUB)	PUBP	出版地	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PUBL	出版者等表示	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PUBDT	出版年月等	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PUBF *6	役割表示	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code ("m")
PHYS	group-name	O	O	-	-	1	-	-	-	
(PHYS)	PHYSP	数量	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PHYSI	挿図	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PHYSS	大きさ	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	PHYSA	付随資料	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
NOTE	注記	O	O	VARCHAR	1024	16	-	-	-	
PRICE	価格・入手条 件・製本・版型	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-	
FID	変遷 ファミリーID	X	X	-	-	-	-	-	-	
BHNT	group-name	X	X	-	-	-	-	-	-	

(BHNT)	BHBID	前／後誌 レコード ID	X	X	-	-	-	-	-	-
	BHK	変遷タイプ	X	X	-	-	-	-	-	-
	BHTR	前／後誌タイト ル	X	X	-	-	-	-	-	-
AL		group-name	O	O	-	-	24	-	-	-
(AL)	AID	著者名典拠 レコード ID	A	A	CHAR	10	1	-	CAP	NAME に対して存在チェック
	AFLG	主記入フラグ	O	O	CHAR	1	1	-	-	code 主記入フラグコード表を参照
	AHDNG *7	著者標目形	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	AHDNGR *7	著者標目形の 読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
	AHDNGVR *7	著者標目形の その他の読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
	AF	役割表示	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
SH		group-name	O	O	-	-	24	-	-	-
(SH)	SHT	件名表の種類	M	M	VARCHAR	7	1	-	CAP	code 主題関係のコード表の種類コード 表を参照
	SHD	件名	M	M	VARCHAR	254	1	-	-	-
	SHK *8	件名の種類	D	D	CHAR	1	1	-	CAP	code 主題関係のコード表の件名 の種類コード表を参照
	SHR	件名のヨミ	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
	SHVR	件名の その他のヨミ	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
REM *9		非転写 フィールド	X	X	-	-	-	-	-	-
ISSNKEY *10		ISSN キー	S	S	-	-	-	-	-	-
YEARKEY *11		YEAR キー	S	S	-	-	-	-	-	-
AKEY *12		短縮キー	S	S	-	-	-	-	-	-
LANGKEY *13		言語コードキー	S	S	-	-	-	-	-	-
TITLEKEY *14		タイトル キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
AUTHKEY *15		著者名 キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
PUBLKEY *16		出版者名 キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
PUBPKEY *17		出版地名 キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
SHKEY *18		件名 キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
FTITLEKEY *19		フルタイトルキ ー	S	S	-	-	-	-	-	-
NDLCLN *20		NDL 請求記号	X	X	-	-	-	-	-	-
NDLHOLD *20		NDL 所蔵デー タ	X	X	-	-	-	-	-	-
IDENT		アイデンティファイ ア	O	O	VARCHAR	1024	16	-	-	-

*1 UPDATE 時は ID をキーとして、レコードが更新される。

*2 SOURCE=ORG 以外の場合、必須。

*3 JPMARCS、USMARCS 専用フィールド。

*4 8 桁以下の場合、左から 2 桁目と 3 桁目の間に 0 を埋めて 8 桁に補正。

- *5 コードを連結して記入。
- *6 制作等に関する事項のとき'm'。従来は'()'で困っていた。
- *7 AID がある場合はシステムがセット。
- *8 デフォルト="K"。
- *9 JPMARCS、USMARCS 専用フィールド。
- *10 ISSN、XISSN からシステムが作成。
ISSNKEY 作成仕様を参照。
- *11 YEAR1、YEAR2 からシステムが作成。
YEARKEY 作成仕様を参照。
- *12 TRD、TRDD からシステムが作成。
AKEY 作成仕様を参照。
- *13 TTLL、TXTL、ORGL からシステムが作成。
LANGKEY 作成仕様を参照。
- *14 TRD、TRR、VTD、VTR からシステムが作成。
TITLEKEY 作成仕様を参照。
- *15 TRD、AHDNG、AHDNGR からシステムが作成。
AUTHKEY 作成仕様を参照。
- *16 PUBL からシステムが作成。
PUBLKEY 作成仕様を参照。
- *17 PUBP からシステムが作成。
PUBPKEY 作成仕様を参照。
- *18 SHD、SHR からシステムが作成。
SHKEY 作成仕様を参照。
- *19 TRD、TRR からシステムが作成。
FTITLEKEY 作成仕様を参照。
- *20 JPMARCS 専用フィールド。

	誤	正
付.B.5 雑誌所蔵レコードの仕様 (p. 238)		<p>■雑誌所蔵レコードの検索仕様 追加</p> <p>■雑誌所蔵レコードの転送仕様 追加</p> <p>■雑誌所蔵レコードの更新仕様内、以下の項目追加</p> <p>_HLV_ _HLYR_ _KENCODE_ _SETCODE_ _ORGCODE_ _ILLFLG_ _COPYS_ _LOANS_ _FAXS_ _STAT_ _GRPCODE_ LOCKEY</p> <p>※付.B.5 雑誌所蔵レコードの仕様 参照</p>

付.B.5 雑誌所蔵レコードの仕様

■雑誌所蔵レコードの検索仕様

追加

SEARCH メソッド(CATP 仕様書 4.4)と SCAN メソッド(CATP 仕様書 4.6)の Object-Body 内の Tag について示す。

SEARCH に○がついている場合、そのフィールド名が SEARCH メソッドで使用可能。

SCAN に○がついている場合、そのフィールド名が SCAN メソッドで使用可能。

また、参考として、旧 CAT システムでの検索・簡略表示画面でのフィールド名として 何に相当しているかも併せて掲載している。

正規化：サーバで検索キーを受け取った際に行う正規化の内容

- 以下の正規化は全ての検索キーに対して行う。
 - 2 バイト英数字→1 バイト英数字
 - 1 バイトカナ→2 バイトカナ
 - 検索キーの 32 文字化(33 文字以上の長さの検索キーに対して、33 文字 以降の文字を切捨てる)
 - 語頭/語尾の特定文字(語頭の「D」「L」、語尾の「S」)の 除去
ただし、FTITLE キーはこの正規化処理の対象外とする。
- 以下の正規化はフィールド毎に異なる
 - CAP: 大文字化(ローマ字、キリル文字、ギリシャ文字)
 - KCAP: カナ大文字化(拗音、促音の大文字化)
 - SML: 小文字化(ローマ字、キリル文字、ギリシャ文字)
 - HYPHEN: “-”(ハイフン)、“ー”(長音)、マイナス、ダッシュの除去
 - DELIM: 踊り文字、デリミタの除去
 - KANA: 平仮名⇒カタカナ
 - EXC: EXC 文字を対応するローマ字に変換

フィールド名	フィールド説明	search	前方一致	正規化	検索キーの再作成	scan	旧 CAT フィールド名
ID	所蔵レコード ID	○	可	CAP	しない	○	
CRTDT	レコード作成日付	-	-	-	-	○	
RNWDT	レコード修正日付	○	可	しない	しない	○	
BID	NC 書誌レコード ID	○	不可	CAP	しない	○	
FANO	参加組織レコード ID	○	不可	CAP	しない	○	MLID
LIBABL	略称	-	-	-	-	-	
LOC	配置コード	-	-	-	-	○	LOC
HLYR	通し年月次	-	-	-	-	○	
HLV	巻号	-	-	-	-	○	
CONT	受入継続表示	-	-	-	-	○	CONT
CLN	請求番号	-	-	-	-	○	
LDF	図書館定義フィールド	-	-	-	-	○	
CPYNT	コピーノートフィールド	-	-	-	-	○	
LTR	ローカルレーシング	-	-	-	-	○	
HLV	所蔵巻号次	-	-	-	-	○	INV
HLYR	所蔵年次	-	-	-	-	○	INYL
KENCODE	県コード	-	-	-	-	○	
SETCODE	設置者種別	-	-	-	-	○	
ORGCODE	機関種別	-	-	-	-	○	

ILLFLG	ILL 参加種別	-	-	-	-	○	
COPYS	複写サービス種別	-	-	-	-	○	
LOANS	貸借サービス種別	-	-	-	-	○	
FAXS	FAX サービス種別	-	-	-	-	○	
STAT	サービスステータス	-	-	-	-	○	
GRPCODE	料金相殺グループコード	-	-	-	-	○	

■雑誌所蔵レコードの転送仕様

追加

SHOLD に対して、SEARCH,RETRIEVE,INSERT,UPDATE メソッドの Response で転送されるフィールドとその形式を示す。
Edit-Type=9 では全てのフィールドを転送する。

データ長

- データ長は文字数で表す。

フィールド名	フィールド説明	属性	長さ	繰り返し 返し	Edit- Type=1	Edit- Type=2	旧 CAT フィー ルド名	備考
DBNAME	収録 DB 名	VARCHAR	12*	1	○	○	-	仮想フィールド SHOLD をセットする。 *1998.11.27 修正
ID	所蔵レコード ID	CHAR	12	1	○	○	<>	
CRTDT	レコード作成日 付	VARCHAR	8	1	-	○	CRTDT	
RNWDT	レコード修正日 付	VARCHAR	8	1	-	○	RNWDT	
BID	NC 書誌レコード ID	CHAR	10	1	-	○	<>	
FANO	参加組織レコー ド ID	CHAR	8	1	○	○	<>	
LIBABL	略称	VARCHAR	254	1	○	○	tag 等なしで表 示	
LOC	配置コード	VARCHAR	20	1	○	○	LOC	
HLYR	通し年月次	VARCHAR	254	1	○	○	HLYR	
HLV	巻号	VARCHAR	4000	4	○	○	HLV	
CONT	受入継続表示	CHAR	1	1	○	○	CONT	
CLN	請求番号	VARCHAR	64	1	-	○	CLN	
LDF	図書館定義フィ ールド	VARCHAR	254	1	-	○	LDF	
CPYNT	コピーノートフィ ールド	VARCHAR	1024	1	-	○	CPYNT	
LTR	ローカルトレーシ ング	VARCHAR	1024	4	-	○	LTR	
KENCODE	県コード	VARCHAR	24	1	-	-	-	仮想フィールド FANO に対応する参加組織レコ ード中の情報
SETCODE	設置者種別	CHAR	1	1	-	-	-	

ORGCODE	機関種別	CHAR	1	1	-	-	-	
ILLFLG	ILL 参加種別	CHAR	1	1	-	-	-	
COPYS	複写サービス種別	CHAR	1	1	-	-	-	
LOANS	貸借サービス種別	CHAR	1	1	-	-	-	
FAXS	FAX サービス種別	CHAR	1	1	-	-	-	
STAT	サービスステータス	CHAR	1	1	-	-	-	
GRPCODE	料金相殺グループコード	CHAR	1	5	-	-	-	

■雑誌所蔵レコードの更新仕様

フィールド	説明	INSERT	UPDATE	DELETE	属性	データ長	繰り返し	フィールド編集	正規化	チェック
ID *1	所蔵レコードID	S	M	M	CHAR	12	1	-	CAP	UPDATE 時存在チェック
CRTDT	レコード作成日付	S	X	X	-	-	-	-	-	-
RNWDT	レコード修正日付	S	S	X	-	-	-	-	-	-
BID *2 *4	NC 書誌レコードID	M	M	X	CHAR	10	1	-	CAP	SERIAL に対して存在チェック
FANO *2 *4	参加組織レコードID	M	M	X	CHAR	8	1	-	CAP	MEMBER に対して存在チェック、GETHANDLE 時の UID で権限チェック、UPDATE、DELETE 時は更新前の値でも権限チェック
LIBABL *3	略称	S	S	X	-	-	-	-	-	-
LOC *2 *4	配置コード	M	M	X	VARCHAR	20	1	-	-	FANO を元に MEMBER の LOC に存在するかチェック
HLYR	所蔵年次	M	M	X	VARCHAR	254	1	-	-	[-;*0-9]、構文チェック
HLV	所蔵巻号	M	M	X	VARCHAR	4000	4	-	-	[-()*;*0-9]、構文チェック
CONT	受入継続表示	O	O	X	CHAR	1	1	-	-	code(" + ")
CLN	請求記号	O	O	X	VARCHAR	64	1	-	-	-
LDF	図書館定義フィールド	O	O	X	VARCHAR	254	1	-	-	-
CPYNT	刷の注記	O	O	X	VARCHAR	1024	1	-	-	-
LTR	ローカルトレーシング	O	O	X	VARCHAR	1024	4	-	-	-
HLV	所蔵巻号次	X	X	X	VARCHAR	4000	4	-	-	-
HLYR	所蔵年次	X	X	X	VARCHAR	254	1	-	-	-
KENCODE	県コード	X	X	X	VARCHAR	24	1	-	-	-
SETCODE	設置者種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-
ORGCODE	機関種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-
ILLFLG	ILL 参加種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-
COPYS	複写サービス種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-

追加

LOANS	貸借サービス種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-
FAXS	FAX サービス種別	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-
STAT	サービスステータス	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-
GRPCODE	料金相殺グループコード	X	X	X	CHAR	1	1	-	-	-
LOCKEY	参加組織・配置コードキーワード	X	X	X	VARCHAR	28	1	-	-	-

*1 UPDATE 時は ID をキーとして、レコードが更新される。

DELETE 時は REQUEST-HEADER の DELETE-RECORD-ID に指定する。

*2 INSERT、UPDATE 時に、BID+FANO+LOC で同一のものがないかチェックし、既に存在する場合は登録できない。

*3 FANO の値を元にシステムがセット。

*4 従来の空値は"@"としてデータをやりとりする。

INSERT、UPDATE 時に、BID+FANO+LOC で同一のものがないかチェックし、既に存在する場合は登録できない。

	誤	正
付.B.6 著者名典拠レコードの仕様 ■著者名典拠レコードの転送仕様 (p. 239)	HDNGVR 繰り返し欄 「1」 SFVR 繰り返し欄 「1」 SAFVR 繰り返し欄 「1」	HDNGVR 繰り返し欄 「2」 SFVR 繰り返し欄 「2」 SAFVR 繰り返し欄 「2」 ※付.B.6 著者名典拠レコードの仕様 参照
■著者名典拠レコードの更新仕様 (p. 242)	MARCID insert 欄 「C」 HDNGVR 繰り返し欄 「1」 SFVR 繰り返し欄 「1」 SAFVR 繰り返し欄 「1」	MARCID insert 欄 「O」 HDNGVR 繰り返し欄 「2」 SFVR 繰り返し欄 「2」 SAFVR 繰り返し欄 「2」 ※付.B.6 著者名典拠レコードの仕様 参照

付.B.6 著者名典拠レコードの仕様

■著者名典拠レコードの検索仕様 略

■著者名典拠レコードの転送仕様

フィールド	説明	属性	データ長	繰り返し	Edit- Type=1	Edit- Type=2	旧 CAT フィールド名	
DBNAME*1	収録 DB 名	VARCHAR	12	1	○	○	画面上方に表示	
ID	著者名典拠レコード ID	CHAR	10	1	○	○	<>	
CRTDT	レコード作成日付	VARCHAR	8	1	-	○	CRTDT	
CRTFA	レコード作成参加組織 ID	CHAR	8	1	-	○	CRTFA	
RNWDT	レコード更新日付	VARCHAR	8	1	-	○	RNWDT	
RNWFA	レコード修正参加組織 ID	CHAR	8	1	-	○	RNWFA	
SOURCE	元レコードの種類(源泉)	VARCHAR	3	1	-	○	-	
MARCID	対応 MARC レコード ID	CHAR	10	1	-	○	-	
MARCST	MARC レコードステータス	CHAR	1	1	-	○	RECST	
MARCFLG	MARC 更新フラグ	VARCHAR	7	1	-	○	MARC	
LCAID	LC 典拠レコード管理番号	VARCHAR	16	1	-	○	-	
(HDNG)	標目フィールドグループ	-	-	1	○	○	HDNG	
(HDNG)	HDNGD	標目表示形	VARCHAR	254	1	○	○	HDNG
	HDNGR	標目表示形の読み	VARCHAR	254	1	-	○	HDNG
	HDNGVR	標目表示形の その他の読み	VARCHAR	254	2	-	○	HDNG
TYPE	タイプ(個人/団体/会議)	CHAR	1	1	-	○	TYPE	
PLACE	場所	VARCHAR	254	1	-	○	PLACE	
DATE	生没年	VARCHAR	254	1	-	○	DATE	
(SF)	から見よ フィールドグループ	-	-	32	-	○	-	
(SF)	SFD	から見よ表示形	VARCHAR	254	1	-	○	SF
	SFR	から見よ表示形の読み	VARCHAR	254	1	-	○	SF
	SFVR	から見よ表示形の その他の読み	VARCHAR	254	2	-	○	SF
(SAF)	からも見よ フィールドグループ	-	-	32	-	○	SAF	
(SAF)	SAFID	からも見よ表示形の ID	CHAR	10	1	-	○	SAF
	SAFD	からも見よ表示形	VARCHAR	254	1	-	○	SAF
	SAFR	からも見よ表示形の読み	VARCHAR	254	1	-	○	SAF
	SAFVR	からも見よ表示形の その他の読み	VARCHAR	254	2	-	○	SAF
NOTE	注記	VARCHAR	1024	128	-	○	NOTE	
REM *2	非転写フィールド	VARCHAR	1024	1	-	○	REM	
AKEY	AKEY	VARCHAR	32	32	-	-	-	
AUTHKEY	著者名キーワード	VARCHAR	32	255	-	-	-	
PLACEKEY	地名キーワード	VARCHAR	32	32	-	-	-	
TIMEKEY	TIMEKEY	VARCHAR	32	32	-	-	-	

*1 仮想フィールド

*2 USMARCA、JPMARCA 専用フィールド

■著者名典拠レコードの更新仕様

フィールド	説明	INSERT	UPDATE	属性	データ長	繰り返し	フィールド編集	正規化	チェック	
ID *1	著者名典拠レコード ID	S	M	CHAR	10	1	-	CAP	UPDATE 時存在チェック	
CRTDT	レコード作成日付	S	X	-	-	-	-	-	-	
CRTFA	レコード作成参加組織 ID	S	X	-	-	-	-	-	-	
RNWDT	レコード更新日付	S	S	-	-	-	-	-	-	
RNWFA	レコード修正参加組織 ID	S	S	-	-	-	-	-	-	
SOURCE	元レコードの種類(源泉)	M	X	VARCHAR	3	1	-	CAP	code ("JP","LC","ORG")	
MARCID *2	対応 MARCレコード ID	0	X	CHAR	10	1	-	CAP	-	
MARCST *3	MARCレコードステータス	X	X	-	-	-	-	-	-	
MARCFLG	MARC更新フラグ	X	X	-	-	-	-	-	-	
LCAID *4	LC 典拠レコード管理番号	O	O	VARCHAR	16	1	-	-	-	
HDNG	標目フィールドグループ	M	M	-	-	1	-	-	-	
(HDNG)	HDNGD	標目表示形	M	M	VARCHAR	254	1	-	-	
	HDNGR	標目表示形の読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	
	HDNGVR	標目表示形のその他の読み	O	O	VARCHAR	254	2	-	-	
TYPE	タイプ(個人/団体/会議)	O	O	CHAR	1	1	-	SML	code 属性コード表を参照	
PLACE	場所	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-	
DATE	生没年	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-	
SF	から見よフィールドグループ	O	O	-	-	32	-	-	-	
(SF)	SFD	から見よ表示形	M	M	VARCHAR	254	1	-	-	
	SFR	から見よ表示形の読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	
	SFVR	から見よ表示形のその他の読み	O	O	VARCHAR	254	2	-	-	
SAF	からも見よフィールドグループ	O	O	-	-	32	-	-	-	
(SAF)	SAFID	からも見よの ID	A	A	CHAR	10	1	-	CAP	NAME に対して存在チェック
	SAFD *5	からも見よ表示形	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	
	SAFR *5	からも見よ表示形の読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	
	SAFVR *5	からも見よ表示形のその他の読み	O	O	VARCHAR	254	2	-	-	
NOTE	注記	M	M	VARCHAR	1024	128	-	-	-	
REM *6	非転写フィールド	X	X	-	-	-	-	-	-	
AKEY *7	短縮キー	S	S	-	-	-	-	-	-	
AUTHKEY *8	著者名キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-	

PLACEKEY *9	地名キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-
TIMEKEY *10	TIMEKEY	S	S	-	-	-	-	-	-

- *1 UPDATE 時は ID をキーとして、レコードが更新される。
- *2 SOURCE=ORG 以外の場合、必須。
- *3 JPMARCA、USMARCA 専用フィールド。
- *4 USMARCA から流用した場合、USMARCA の LCAID を収める。
- *5 SAFID がある場合はシステムがセット。
- *6 USMARCA、JPMARCA 専用フィールド。
- *7 AKEY 作成仕様を参照。
- *8 HDNGD、HDNGR、SFD、SFR、SAFD、SAFR からシステムが作成。
AUTHKEY 作成仕様を参照。
- *9 PLACE からシステムが作成。
PLACEKEY 作成仕様を参照。
- *10 DATE からシステムが作成。
TIMEKEY 作成仕様を参照。

	誤	正
付.B.7 統一書名典拠レコードの仕様 ■統一書名典拠レコードの転送仕様 (p. 245)	HDNGVR 繰り返し欄 「1」 SFVR 繰り返し欄 「1」 SAFVR 繰り返し欄 「1」	HDNGVR 繰り返し欄 「2」 SFVR 繰り返し欄 「2」 SAFVR 繰り返し欄 「2」 ※付.B.7 統一書名典拠レコードの仕様 参照
■統一書名典拠レコードの更新仕様 (p. 246)	MARCID insert 欄 「C」 HDNGVR 繰り返し欄 「1」 SFVR 繰り返し欄 「1」 SAFVR 繰り返し欄 「1」	MARCID insert 欄 「O」 HDNGVR 繰り返し欄 「2」 SFVR 繰り返し欄 「2」 SAFVR 繰り返し欄 「2」 ※付.B.7 統一書名典拠レコードの仕様 参照

付.B.7 統一書名典拠レコードの仕様

■統一書名典拠レコードの検索仕様 略

■統一書名典拠レコードの転送仕様

フィールド	説明	属性	データ長	繰り返し	Edit-Type=1	Edit-Type=2	旧 CAT フィールド名
DBNAME*1	収録 DB 名	VARCHAR	12	1	○	○	画面上方に表示
ID	統一書名典拠レコード ID	CHAR	10	1	○	○	<>
CRTDT	レコード作成日付	VARCHAR	8	1	-	○	CRTDT
CRTFA	レコード作成参加組織 ID	CHAR	8	1	-	○	CRTFA
RNWDT	レコード更新日付	VARCHAR	8	1	-	○	RNWDT
RNWFA	レコード修正参加組織 ID	CHAR	8	1	-	○	RNWFA
SOURCE	元レコードの種類(源泉)	VARCHAR	3	1	-	○	-
MARCID	対応 MARC レコード ID	CHAR	10	1	-	○	-
MARCST	MARC レコードステータス	CHAR	1	1	-	○	RECST
MARCFLG	MARC レコード更新フラグ	VARCHAR	7	1	-	○	MARC
LCUID	LC 典拠レコード管理番号	VARCHAR	16	1	-	○	-
(HDNG)	標目フィールドグループ	-	-	1	○	○	HDNG
(HDNG)	HDNGD 標目表示形	VARCHAR	254	1	○	○	HDNG
	HDNGR 標目表示形の読み	VARCHAR	254	1	-	○	HDNG
	HDNGVR 標目表示形のその他の読み	VARCHAR	254	2	-	○	HDNG
(SF)	から見よフィールド	-	-	32	-	○	-
(SF)	SFD から見よ表示形	VARCHAR	254	1	-	○	SF
	SFR から見よ表示形の読み	VARCHAR	254	1	-	○	SF
	SFVR から見よ表示形のその他の読み	VARCHAR	254	2	-	○	SF
(SAF)	からも見よフィールド	-	-	32	-	○	SAF
(SAF)	SAFID からも見よの ID	CHAR	10	1	-	○	SAF
	SAFD からも見よ表示形	VARCHAR	254	1	-	○	SAF
	SAFR からも見よ表示形の読み	VARCHAR	254	1	-	○	SAF
	SAFVR からも見よ表示形のその他の読み	VARCHAR	254	2	-	○	SAF
NOTE	注記	VARCHAR	1024	128	-	○	NOTE
REM *2	非転写フィールド	VARCHAR	1024	1	-	○	REM
AKEY	AKEY	VARCHAR	32	32	-	-	-
TITLEKEY	タイトルキー	VARCHAR	32	255	-	-	-
AUTHKEY	著者名キーワード	VARCHAR	32	255	-	-	-

*1 仮想フィールド

*2 USMARCT 専用フィールド

■統一書名典拠レコードの更新仕様

フィールド	説明	INSERT	UPDATE	属性	データ長	繰り返し	フィールド編集	正規化	チェック
ID *1	統一書名典拠レコード ID	S	M	CHAR	10	1	-	CAP	UPDATE 時存在チェック

CRTDT	レコード 作成日付	S	X	-	-	-	-	-	-	
CRTFA	レコード 作成参加組織 ID	S	X	-	-	-	-	-	-	
RNWDT	レコード 更新日付	S	S	-	-	-	-	-	-	
RNWFA	レコード 修正参加組織 ID	S	S	-	-	-	-	-	-	
SOURCE	元レコードの 種類(源泉)	M	X	VARCHAR	3	1	-	CAP	Code ("LC","ORG")	
MARCID *2	対応 MARC レコード ID	O	X	CHAR	10	1	-	CAP	-	
MARCST *3	MARC レコードステータス	X	X	-	-	-	-	-	-	
MARCFLG	MARC レコード更新フラグ	X	X	-	-	-	-	-	-	
LCUID *4	LC 典拠レコード管理番号	O	O	VARCHAR	16	1	-	-	-	
HDNG	標目フィールドグループ	M	M	-	-	1	-	-	-	
(HDNG)	HDNGD	標目表示形	M	M	VARCHAR	254	1	-	-	
	HDNGR	標目表示形の読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	
	HDNGVR	標目表示形の その他の読み	O	O	VARCHAR	254	2	-	-	
SF	から見よ フィールド	O	O	-	-	32	-	-	-	
(SF)	SFD	から見よ表示形	M	M	VARCHAR	254	1	-	-	
	SFR	から見よ表示形の読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	
	SFVR	から見よ表示形のその 他の読み	O	O	VARCHAR	254	2	-	-	
SAF	からも見よ フィールド	O	O	-	-	32	-	-	-	
(SAF)	SAFID	からも見よの ID	A	A	CHAR	10	1	-	CAP	TITLE に対して存在チェック
	SAFD *5	からも見よ表示形	A	A	VARCHAR	254	1	-	-	-
	SAFR *5	からも見よ表示形の読み	O	O	VARCHAR	254	1	-	-	-
	SAFVR *5	からも見よ表示形のその 他の読み	O	O	VARCHAR	254	2	-	-	-
NOTE	注記	M	M	VARCHAR	1024	128	-	-	-	
REM *6	非転写フィールド	X	X	-	-	-	-	-	-	
AKEY *7	短縮キー	S	S	-	-	-	-	-	-	
TITLEKEY *8	タイトルキー	S	S	-	-	-	-	-	-	
AUTHKEY *9	著者名 キーワード	S	S	-	-	-	-	-	-	

*1 UPDATE 時は ID をキーとして、レコードが更新される。

*2 SOURCE=ORG 以外の場合、必須。

*3 USMARCT 専用フィールド。

*4 USMARCT から流用した場合、USMARCT の LCUID を収める。

*5 SAFID がある場合はシステムがセット。

*6 USMARCT 専用フィールド。

*7 AKEY 作成仕様を参照。

*8 HDNGD、HDNGR、SFD、SFR、SAFD、SAFR からシステムが作成。
TITLEKEY 作成仕様を参照。

*9 HDNGD、HDNGR、SFD、SFR、SAFD、SAFR からシステムが作成。
AUTHKEY 作成仕様を参照。

	誤	正
付.B.8 参加組織レコードの仕様 ■参加組織レコードの検索仕様 (p. 249)	欄外 *9 private field, ISO 対応 (CATP/1.1 Schema-version 3)	欄外 *9 private field, ISO 対応 (CATP/1.1 Schema-version 3) 現在不使用 ※付.B.8 参加組織レコードの仕様 参照
■参加組織レコードの転送仕様 (p. 251)	SEQ 長さ欄 「？」 欄外 *2 private field (参加組織 ID とハンドル中の ID によるチェックを行う)。	SEQ 長さ欄 「1」 欄外 *2 private field 現在不使用 (参加組織 ID とハンドル中の ID によるチェックを行う)。 ※付.B.8 参加組織レコードの仕様 参照
■参加組織レコードの更新仕様 (p. 251)	NAMEKEY 正規化欄 「-」 AMLIDE 正規化欄 「CAP」 KID 正規化欄 「-」 BL BLID BLPWD NDLID	NAMEKEY 正規化欄 「CAP、EXC、KANA、HYPHEN」 AMLIDE 正規化欄 「-」 KID 正規化欄 「CAP」 BL * BLID * BLPWD * NDLID * 欄外 * 現在不使用 ※付.B.8 参加組織レコードの仕様 参照

付.B.8 参加組織レコードの仕様

■参加組織レコードの検索仕様

フィールド	説明	SEARCH	前方一致	正規化	検索キーの再作成	SCAN	旧 CAT フィールド名
ID	参加組織レコード ID	○	可	CAP	しない	○	MLID
NAME	参加組織名称	-	-	-	-	○	-
NAMER	参加組織名称ヨミ	-	-	-	-	○	-
RYAKU	参加組織略称	-	-	-	-	○	-
RYAKUR	参加組織略称ヨミ	-	-	-	-	○	-
CRTDT	作成日付	-	-	-	-	○	-
RNWDT	更新日付	×	-	-	-	○	-
KENCODE *1	地域(県)コード	○	不可	しない	しない	○	AREA
LOC	配置コード	○	可	しない	しない	○	-
NAMEKEY	参加組織名称キーワード	○	可	HYPHEN KANA EXC CAP KCAP	しない	-	MLNM
SETCODE *2	設置者種別	×	-	-	-	○	-
ORGCODE *3	機関種別	×	-	-	-	○	-
CATFLG *4	CAT 参加種別	×	-	-	-	○	-
ILLFLG *4	ILL 参加種別	×	-	-	-	○	-
COPYAL	複写受理館コード	-	-	-	-	○	-
LOANAL	貸借受理館コード	-	-	-	-	○	-
COPYS *5	複写サービス種別	-	-	-	-	○	-
LOANS *6	貸借サービス種別	-	-	-	-	○	-
FAXS *7	FAX サービス種別	-	-	-	-	○	-
STAT *8	サービスステータス	-	-	-	-	○	-
ZIP	郵便番号	-	-	-	-	○	-
ADDRESS	住所	-	-	-	-	○	-
TEL	電話番号	-	-	-	-	○	-
EXTEL	内線番号	-	-	-	-	○	-
FAX	FAX 番号	-	-	-	-	○	-
ILLDEPT	ILL 担当部局	-	-	-	-	○	-
ILLSTAFF	ILL 担当者	-	-	-	-	○	-
POLICY	レンディングポリシー	-	-	-	-	○	-
LDF	図書館定義フィールド	-	-	-	-	○	-
LIBCODE	文部省図書館コード	-	-	-	-	○	-
LOANP	貸借期間	-	-	-	-	○	-
AMLIDE	講習会用受付館コード	-	-	-	-	○	-
KID	機関コード	○	不可	CAP	しない	○	-
CKKID	大計センター機関コード	-	-	-	-	○	-
BL *9	group name	-	-	-	-	-	-
(BL)	BLID *9	BLDSC 利用者 ID	-	-	-	-	-
	BLPWD *9	BLDSC パスワード	-	-	-	-	-
OCLC *10	group name						

(OCLC)	OCLCID *10	OCLC 利用者 ID	-	-	-	-	-	-
	OCLCPWD *10	OCLC パスワード	-	-	-	-	-	-
RLG *10		group name						
(RLG)	RLGID *10	RLG 利用者 ID	-	-	-	-	-	-
	RLGPWD *10	RLG パスワード	-	-	-	-	-	-
CATDEPT		目録担当部局名	-	-	-	-	○	-
CATTEL		目録担当電話番号(内線)	-	-	-	-	○	-
CATFAX		目録担当 FAX 番号	-	-	-	-	○	-
SYSDEPT		システム担当部局	-	-	-	-	○	-
SYSTEL		システム担当部局電話番号	-	-	-	-	○	-
SYSFAX		システム担当部局 FAX 番号	-	-	-	-	○	-
EMAIL		E-mail アドレス	-	-	-	-	○	-
NDLID *9		国立国会図書館利用者 ID	-	-	-	-	-	-
WABUN		学総目日文編代表種別	-	-	-	-	○	-
OBUN		学総目欧文編代表種別	-	-	-	-	○	-
SEQ		機関内冊子体表示順序	-	-	-	-	○	-
WABUNS		サービス種別和文編	-	-	-	-	○	-
OBUNS		サービス種別欧文編	-	-	-	-	○	-
GRPCODE *11		料金相殺グループコード	-	-	-	-	○	-

*1 都道府県コード(地域指定は不可)

*2 1:国立
2:公立
3:私立
4:特殊法人
9:その他

*3 1:大学
2:短期大学
3:高等専門学校
4:大学共同利用機関等
5:他省庁の施設機関等
9:その他

*4 A:参加
N:未参加

*5 A:複写依頼を受け付ける
C:他の窓口で受け付ける
N:複写依頼を受け付けない

*6 A:貸借依頼を受け付ける
C:他の窓口で受け付ける
N:貸借依頼を受け付けない

*7 A:FAX 送信サービス可
C:条件つきで FAX 送信サービス可
N:FAX 送信サービス不可

*8 A:現在サービス可
N:現在サービス不可

*9 private field, ISO 対応 (CATP/1.1 Schema-version 3) **現在不使用**

*10 N: ILL 文献複写等料金相殺サービス参加

■参加組織レコードの転送仕様

フィールド	説明	属性	データ長	繰り返し	Edit- Type=1	Edit- Type=2	旧 CAT フィールド名
DBNAME *1	収録 DB 名	VARCHAR	12	1	○	○	-
ID	参加組織レコード ID	CHAR	8	1	○	○	MLID

NAME	参加組織名称	VARCHAR	254	1	○	○	ORGNW	
NAMER	参加組織名称ヨミ	VARCHAR	254	1	-	○	ORGSW	
RYAKU	参加組織略称	VARCHAR	254	1	-	○	ORGSN	
RYAKUR	参加組織略称ヨミ	VARCHAR	254	1	-	○	ORGSN	
CRTDT	作成日付	CHAR	8	1	-	○	CRDATE	
RNWDT	更新日付	CHAR	8	1	-	○	UPDATE	
KENCODE	地域(県)コード	VARCHAR	24	1	-	○	-	
LOC	配置コード	VARCHAR	20	255	-	○	-	
NAMEKEY	参加組織名称キーワード	VARCHAR	64	32	-	-	-	
SETCODE	設置者種別	CHAR	1	1	-	○	SETFLG	
ORGCODE	機関種別	CHAR	1	1	-	○	KFLG	
CATFLG	CAT 参加種別	CHAR	1	1	-	○	CATFLG	
ILLFLG	ILL 参加種別	CHAR	1	1	-	○	ILLFLG	
COPYAL	複写受理館コード	CHAR	8	1	-	○	AMLIDC	
LOANAL	貸借受理館コード	CHAR	8	1	-	○	AMLIDB	
COPYS	複写サービス種別	CHAR	1	1	-	○	COPYS	
LOANS	貸借サービス種別	CHAR	1	1	-	○	LOANS	
FAXS	FAX サービス種別	CHAR	1	1	-	○	FAXS	
STAT	サービスステータス	CHAR	1	1	-	○	SSTAT	
ZIP	郵便番号	VARCHAR	8	1	-	○	YNO	
ADDRESS	住所	VARCHAR	254	1	-	○	ADDRS	
TEL	電話番号	VARCHAR	20	5	-	○	TEL	
EXTEL	内線番号	VARCHAR	10	5	-	○	EXTEL	
FAX	FAX 番号	VARCHAR	20	5	-	○	FAX	
ILLDEPT	ILL 担当部局	VARCHAR	254	1	-	○	ILLDEPT	
ILLSTAFF	ILL 担当者	VARCHAR	254	1	-	○	ILLSTAF	
POLICY	レンディングポリシー	VARCHAR	254	255	-	○	POLICY	
LDF	図書館定義フィールド	VARCHAR	254	4	-	○	LDF	
LIBCODE	文部省図書館コード	CHAR	6	1	-	○	-	
LOANP	貸借期間	VARCHAR	8	1	-	○	LOANP	
AMLIDE	講習会用受付館コード	CHAR	8	5	-	○	AMLIDE	
KID	機関コード	CHAR	8	1	-	○	-	
CCKID	大計センター機関コード	CHAR	6	1	-	○	-	
BL	group name	-	-	1	-	○	-	
(BL)	BLID *2	BLDSC 利用者 ID	VARCHAR	254	1	-	○	BLDSC
	BLPWD *2	BLDSC パスワード	VARCHAR	254	1	-	○	BLDSC
OCLC	group name	-	-	1	-	○	-	
(OCLC)	OCLCID *3	OCLC 利用者 ID	VARCHAR	254	1	-	○	-
	OCLCPWD *3	OCLC パスワード	VARCHAR	254	1	-	○	-
RLG	group name	-	-	1	-	○	-	
(RLG)	RLGID *3	RLG 利用者 ID	VARCHAR	254	1	-	○	-
	RLGPWD *3	RLG パスワード	VARCHAR	254	1	-	○	-
CATDEPT	目録担当部局名	VARCHAR	50	5	-	○	CATDEPT	
CATTEL	目録担当電話番号(内線)	VARCHAR	30	5	-	○	CATTEL	
CATFAX	目録担当 FAX 番号	VARCHAR	50	5	-	○	CATFAX	
SYSDEPT	システム担当部局	VARCHAR	50	5	-	○	SYSDEPT	
SYSTEL	システム担当部局電話番号	VARCHAR	30	5	-	○	SYSTEL	

SYSFAX	システム担当部局 FAX 番号	VARCHAR	50	5	-	○	SYSFAX
EMAIL	E-mail アドレス	VARCHAR	50	5	-	○	EMAIL
NDLID *2	国立国会図書館利用者 ID	VARCHAR	254	1	-	○	NDL
WABUN	学総目日文編代表種別	CHAR	1	1	-	○	-
OBUN	学総目欧文編代表種別	CHAR	1	1	-	○	-
SEQ	機関内冊子体表示順序	CHAR	1	1	-	○	-
WABUNS	サービス種別日文編	CHAR	1	1	-	○	-
OBUNS	サービス種別欧文編	CHAR	1	1	-	○	-
GRPCODE	料金相殺グループコード	CHAR	1	5	-	○	-

*1 仮想フィールド MEMBER をセット。

*2 private field 現在不使用
(参加組織 ID とハンドル中の ID によるチェックを行う)。

*3 private field, ISO 対応
(参加組織 ID とハンドル中の ID によるチェックを行う、かつ CATP/1.1 schema-version 3)。

■参加組織レコードの更新仕様

フィールド	説明	UPDATE	属性	長さ	繰り返し	正規化	チェック
ID	参加組織レコード ID	M	CHAR	8	1	CAP	GETHANDLE 時の UID で権限チェック
NAME	参加組織名称	X	-	-	-	-	-
NAMER	参加組織名称ヨミ	X	-	-	-	-	-
RYAKU	参加組織略称	X	-	-	-	-	-
RYAKUR	参加組織略称ヨミ	X	-	-	-	-	-
CRTDT	作成日付	X	-	-	-	-	-
RNWDT	更新日付	S	-	-	-	-	-
KENCODE	地域(県)コード	X	-	-	-	-	-
LOC	配置コード	X	-	-	-	-	-
NAMEKEY	参加組織名称 キーワード	X	-	-	-	CAP、 EXC、 KANA、 HYPHEN	-
SETCODE	設置者種別	X	-	-	-	-	-
ORGCODE	機関種別	X	-	-	-	-	-
CATFLG	CAT 参加種別	X	-	-	-	-	-
ILLFLG	ILL 参加種別	X	-	-	-	-	-
COPYAL	複写受理館コード	C	CHAR	8	1	CAP	COPYS=C のとき必須 妥当性(KID が同じ)
LOANAL	貸借受理館コード	C	CHAR	8	1	CAP	LOANS=C のとき必須 妥当性(KID が同じ)
COPYS	複写サービス種別	M	CHAR	1	1	CAP	CODE ("A","C","N")
LOANS	貸借サービス種別	M	CHAR	1	1	CAP	CODE ("A","C","N")
FAXS	FAX サービス種別	M	CHAR	1	1	CAP	CODE ("A","C","N")
STAT	サービスステータス	M	CHAR	1	1	CAP	CODE ("A","N")
ZIP	郵便番号	O	VARCHAR	8	1	-	-
ADDRESS	住所	O	VARCHAR	254	1	-	-
TEL	電話番号	O	VARCHAR	20	5	-	-

EXTEL	内線番号	O	VARCHAR	10	5	-	-
FAX	FAX 番号	O	VARCHAR	20	5	-	-
ILLDEPT	ILL 担当部局	O	VARCHAR	254	1	-	-
ILLSTAFF	ILL 担当者	O	VARCHAR	254	1	-	-
POLICY	レンディングポリシー	O	VARCHAR	254	255	-	-
LDF	図書館定義フィールド	O	VARCHAR	254	4	-	-
LIBCODE	文部科学省図書館コード	X	-	-	-	-	-
LOANP	貸借期間	O	VARCHAR	8	1	-	[0-9]{2}もしくは [0-9]{8}かつ>RNWDT
AMLIDE	講習会用受付館コード	O	CHAR	8	5	-	MEMBER に対して存在チェック
KID	機関コード	X	-	-	-	CAP	-
CCKID	大計センター機関コード	X	-	-	-	-	-
BL*	groupe-name	O	-	-	1	-	-
(BL)	BLID*	M	VARCHAR	254	1	-	-
(BL)	BLPWD*	M	VARCHAR	254	1	-	-
CATDEPT	目録担当部局名	O	VARCHAR	50	5	-	-
CATTEL	目録担当電話番号(内線)	O	VARCHAR	30	5	-	-
CATFAX	目録担当 FAX 番号	O	VARCHAR	50	5	-	-
SYSDEPT	システム担当部局	O	VARCHAR	50	5	-	-
SYSTEL	システム担当部局電話番号	O	VARCHAR	30	5	-	-
SYSFAX	システム担当部局 FAX 番号	O	VARCHAR	50	5	-	-
EMAIL	E-mail アドレス	O	VARCHAR	50	5	-	-
NDLID*	国立国会図書館 利用者 ID	O	VARCHAR	254	1	-	-
WABUN	学総目日文編 代表種別	X	-	-	-	-	-
OBUN	学総目欧文編 代表種別	X	-	-	-	-	-
SEQ	機関内冊子体 表示順序	X	-	-	-	-	-
WABUNS	サービス種別 和文編	X	-	-	-	-	-
OBUNS	サービス種別 欧文編	X	-	-	-	-	-
GRPCODE	料金相殺 グループコード	X	-	-	-	-	-

* 現在不使用

更新日：2014/10

	誤	正
付.B.9 タイトル変遷 (p. 253)		付.B.9 タイトル変遷 追加 ※ <u>付.B.9 タイトル変遷</u> 参照

付.B.9 タイトル変遷

追加

SEARCH メソッド(CATP 仕様書 4.4)と SCAN メソッド(CATP 仕様書 4.6)の Object-Body 内の Tag について示す。
SEARCH に○がついている場合、そのフィールド名が SEARCH メソッドで使用可能。
SCAN に○がついている場合、そのフィールド名が SCAN メソッドで使用可能。
また、参考として、旧 CAT システムでの検索・簡略表示画面でのフィールド名として 何に相当しているかも併せて掲載している。

正規化: サーバで検索キーを受け取った際に行う正規化の内容

- 以下の正規化は全ての検索キーに対して行う。
 - 2 バイト英数字→1 バイト英数字
 - 1 バイトカナ→2 バイトカナ
 - 検索キーの 32 文字化(33 文字以上の長さの検索キーに対して、33 文字 以降の文字を切捨てる)
 - 語頭/語尾の特定文字(語頭の「D」「L」、語尾の「S」)の 除去
ただし、FTITLE キーはこの正規化処理の対象外とする。
- 以下の正規化はフィールド毎に異なる
 - CAP: 大文字化(ローマ字、キリル文字、ギリシャ文字)
 - KCAP: カナ大文字化(拗音、促音の大文字化)
 - SML: 小文字化(ローマ字、キリル文字、ギリシャ文字)
 - HYPHEN: “-”(ハイフン)、“ー”(長音)、マイナス、ダッシュの除去
 - DELIM: 踊り文字、デリミタの除去
 - KANA: 平仮名⇒カタカナ
 - EXC: EXC 文字を対応するローマ字に変換

■タイトル変遷検索定義

フィールド名	フィールド説明	search	前方一致	正規化	検索キーの再作成	scan	旧 CAT フィールド名
ID	雑誌変遷レコード ID	○	不可	-	しない	○	
FID	ファミリーID	○	不可	-	しない	○	
SEQ	シーケンシャル番号	-	-	-	-	-	
BBID	前誌レコード ID	-	-	-	-	-	
ABID	後誌レコード ID	-	-	-	-	-	
TYPE	変遷タイプ	-	-	-	-	-	

■タイトル変遷転送定義

CHANGE に対して、SEARCH,RETRIEVE メソッドの Response で 転送されるフィールドとその形式を示す。
Edit-Type=9 では全てのフィールドを転送する。

データ長

- データ長は文字数で表す。

フィールド名	フィールド説明	属性	長さ	繰返し	Edit-Type=1	Edit-Type=2	旧 CAT フィールド名	備考
DBNAME	収録 DB 名	VARCHAR	12*	1	○	○	-	仮想フィールド *1998.11.27 修正
ID	雑誌変遷レコード ID	CHAR	10	1	○	○	-	
FID	ファミリーID	CHAR	8	1	○	○	-	
SEQ	シーケンシャル番号	CHAR	3	1	-	○	-	
BBID	前誌レコード ID	CHAR	10	1	-	○	-	
ABID	後誌レコード ID	CHAR	10	1	-	○	-	
TYPE	変遷タイプ	CHAR	1	1	-	○	-	

	誤	正
付録.C インデクス作成仕様 ■AKEY 作成仕様 対象フィールド (p. 254)		SAFD、SAFR 追加 ※ <u>付録.C インデクス作成仕様</u> 参照
●インデクス作成手順 (p. 255)		3.SAFD と SAFR 追加 ※ <u>付録.C インデクス作成仕様</u> 参照
■AUTHKEY 作成仕様 対象フィールド (p. 255)		AHDNGVR、UTHDNGVR、HDNGVR、SFVR、 SAFVR 追加 ※ <u>付録.C インデクス作成仕様</u> 参照
■AUTHKEY 作成仕様 (p. 257)	AHDNGR UTHDNGR	AHDNGR、 <u>AHDNGVR</u> (追加) UTHDNGR、 <u>UTHDNGVR</u> (追加) ※ <u>付録.C インデクス作成仕様</u> 参照
■AUTHKEY 作成仕様 (p. 258)	HDNGR	HDNGR、 <u>HDNGVR</u> (追加) ※ <u>付録.C インデクス作成仕様</u> 参照
■AUTHKEY 作成仕様 (p. 257)	SFR SAFR	SFR、 <u>SFVR</u> (追加) SAFR、 <u>SAFVR</u> (追加) ※ <u>付録.C インデクス作成仕様</u> 参照
■LOCKEY 作成仕様 (p. 262)		■LOCKEY 作成仕様(追加) ※ <u>付録.C インデクス作成仕様</u> 参照
■SHKEY 作成仕様 対象フィールド (p. 265)		SHVR 追加 ※ <u>付録.C インデクス作成仕様</u> 参照

<p>■TITLEKEY 作成仕様 対象フィールド (p.266)</p>		<p>TRVR、VTVR、CWVR、PTBTRVR、UTHDNGVR、 HDNGVR、SFVR、SAFVR 追加 ※ 付録.C インデクス作成仕様 参照</p>
<p>■TITLEKEY 作成仕様 (p.267)</p>	<p>TRR VTR PTBTRR</p>	<p>TRR、<u>TRVR</u>(追加) VTR、<u>VTVR</u>(追加) PTBTRR、<u>PTBTRVR</u>(追加) ※ 付録.C インデクス作成仕様 参照</p>
<p>■TITLEKEY 作成仕様 (p.268)</p>	<p>UTHDNGR HDNGR SFD</p>	<p>UTHDNGR、<u>UTHDNGVR</u>(追加) HDNGR、<u>HDNGVR</u>(追加) SFD 下記部分を追加 但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。 △--△ ※ 付録.C インデクス作成仕様 参照</p>
<p>■TITLEKEY 作成仕様 (p.269)</p>	<p>SFR SFD と SFR</p>	<p>SFR、<u>SFVR</u>(追加) 下記部分も追加 但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。 △--△ SFD と SFR 下記部分を追加 SFD の TITLEKEY を作成する部分を、SFR の TITLEKEY を切り出す部分の語分割を参考にして切り出す。但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。 △--△ ※ 付録.C インデクス作成仕様 参照</p>

<p>■TITLEKEY 作成仕様 (p.269)</p>	<p>SAFD</p> <p>SAFR</p> <p>SAFD と SAFR</p>	<p>SAFD 下記部分を追加</p> <p>但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。</p> <p>△--△</p> <p>SAFR、<u>SAFVR</u>(追加) 下記部分も追加</p> <p>但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。</p> <p>△--△</p> <p>SAFD と SAFR 下記部分を追加</p> <p>SAFD の TITLEKEY を作成する部分を、SAFR の TITLEKEY を切り出す部分の語分割を参考にして切り出す。但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。</p> <p>△--△</p> <p>※ <u>付録.C インデクス作成仕様</u> 参照</p>
-----------------------------------	--	---

付録.C インデクス作成仕様

ここでは、インデクス作成仕様の一覧を示します。

付録.C インデクス作成仕様 ここでは、インデクス作成仕様の一覧を示します。

■AKEY 作成仕様

AKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。なお、AKEY はひらがな/カタカナ、促音、拗音などの大小を区別しています。

AKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- BOOK
- RECON
- SERIAL
- JPMARC
- JPMARCS
- TRGMARC
- USMARC
- USMARCS
- USMARCX
- GPOMARC
- UKMARC
- DNARC
- CHMARC
- KORMARC
- NAME
- JPMARCA
- USMARCA
- TITLE
- USMARCT

AKEY の作成対象フィールドは、以下のとおりです。

- TRD
- TRR
- HDNGD
- HDNGR
- SAFD
- SAFR

追加

●インデクス作成手順

1.TRD と TRR

1. TRD があり、TTLL=jpn。

TRD のデータの先頭から 1、3、5 番目の文字を順番に組み合わせて作成。

TRR の先頭から 4 語について、最初の 3 文字、1 文字、1 文字、1 文字を順番に組み合わせて作成。

2. それ以外。

TRD、TRR の先頭から 4 語について、最初の 3 文字、1 文字、1 文字、1 文字を順番に組み合わせて作成。

2.HDNGD と HDNGR

1. HDNGR があり。
HDNGD のデータの先頭から 1、3、5 番目の文字を順番に組み合わせて作成。
HDNGR の先頭から 4 語について、最初の 3 文字、1 文字、1 文字、1 文字を順番に組み合わせて作成。
2. それ以外。
HDNGD の先頭から 4 語について、最初の 3 文字、1 文字、1 文字、1 文字を順番に組み合わせて作成。

3.SAFD と SAFR

1. SAFR があり。
SAFD のデータの先頭から 1、3、5 番目の文字を順番に組み合わせて作成。
SAFR の先頭から 4 語について、最初の 3 文字、1 文字、1 文字、1 文字を順番に組み合わせて作成。
2. それ以外。
SAFD の先頭から 4 語について、最初の 3 文字、1 文字、1 文字、1 文字を順番に組み合わせて作成。

■AUTHKEY 作成仕様

AUTHKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて以下のフィールドから作成されます。

INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

- TRD
- CWA
- PTBTR
- PTBNO
- AHDNG
- AHDNGR
- **AHDNGVR**
- UTHDNG
- UTHDNGR
- **UTHDNGVR**
- HDNGD
- HDNGR
- **HDNGVR**
- SFD
- SFR
- **SFVR**
- SAFD
- SAFR
- **SAFVR**



なお、AUTHKEY 作成時には以下の条件が適用されます。

- ストップワードは AUTHKEY とならない。
- AUTHKEY の最大長は 32 文字なのでそれより長い文字列はそこでカットされる。
- 最大繰り返し数は 512 回なので、512 に達した時点でそれ以上の AUTHKEY は作成されない。

それぞれのフィールドについて以下のように語の切り出しを行ない、正規化して AUTHKEY とします。

注: △は半角スペース。記号は全て半角。

TRD

“△／△”以降をデリミタごとに語を切り出す。また、“△／△”以降でも以下の文字列が出現した場合、語の切り出しを中止し、“△／△”が出現したら再開する。

△. △

△=△

なお、“△=△/△”のような場合、“△=△”の後に“△/△”が出現したと判断する。

CWA

デリミタごとに語を切り出す。

PTBTR

JPMARC、TRCMARC、USMARC、USMARCX、GPOMARC、UKMARC の場合のみ切り出しを行なう。

“△/△”以降の部分をデリミタごとに語を切り出す。また、“△/△”以降でも以下の文字列が出現した場合、語の切り出しを中止し、“△/△”が出現したら再開する。

△. △

△=△

なお、“△=△/△”のような場合、“△=△”の後に“△/△”が出現したと判断する。

PTBNO

“△/△”以降の部分をデリミタごとに語を切り出す。また、“△/△”以降でも以下の文字列が出現した場合、語の切り出しを中止し、“△/△”が出現したら再開する。

△. △

△=△

| |

△;△

{△が出現した場合は△}が出現するまで、△;△は無視する。

なお、“△=△/△”のような場合、“△=△”の後に“△/△”が出現したと判断する。

AHDNG

デリミタごとに語を切り出す。

AHDNGR, **AHDNGVR**

追加

デリミタごとに語を切り出す。

AHDNG と AHDNGR

AHDNG を、AHDNGR の語分割を参考にして切り出す。

UTHDNG

以下の文字列が出現する場合、それ以前を切り出す。

△--△

UTHDNGR, **UTHDNGVR**

追加

以下の文字列が出現する場合、それ以前を切り出す。

△ー△

UTHDNG と UTHDNGR

UTHDNG の AUTHKEY を作成する部分を、UTHDNGR の AUTHKEY を切り出す部分の語分割を参考にして切り出す。

HDNGD

デリミタごとに語を切り出す。

但し、TITLE、USMARCT の場合は以下の文字列が出現する場合のみ、それ以前を切り出す。

△ー△

HDNGR, **HDNGVR** 

デリミタごとに語を切り出す。

ただし、TITLE、USMARCT の場合は以下の文字列が出現する場合のみ、それ以前を切り出す。

△ー△

HDNGD と HDNGR

HDNGD の AUTHKEY を作成する部分を、HDNGR の AUTHKEY を切り出す部分の語分割を参考にして切り出す。

SFD

デリミタごとに語を切り出す。

ただし、TITLE、USMARCT の場合は以下の文字列が出現する場合のみ、それ以前を切り出す。

△ー△

SFR, **SFVR** 

デリミタごとに語を切り出す。

ただし、TITLE、USMARCT の場合は以下の文字列が出現する場合のみ、それ以前を切り出す。

△ー△

SFD と SFR

SFD の AUTHKEY を作成する部分を、SFR の AUTHKEY を切り出す部分の語分割を参考にして切り出す。

SAFD

デリミタごとに語を切り出す。

ただし、TITLE、USMARCT の場合は以下の文字列が出現する場合のみ、それ以前を切り出す。

△ー△

SAFR, SAFVR

追加

デリミタごとに語を切り出す。

ただし、TITLE、USMARCT の場合は以下の文字列が出現する場合のみ、それ以前を切り出す。

△ー△

SAFD と SAFR

SAFD の AUTHKEY を作成する部分を、SAFR の AUTHKEY を切り出す部分の語分割を参考にして切り出す。

■DDCKEY 作成仕様

DDCKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

DDCKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- BOOK
- RECON
- JPMARC
- TRCMARC
- USMARC
- USMARCX
- GPOMARC
- UKMARC
- DNARC
- CHMARC
- KORMARC

DDCKEY の作成対象フィールドと作成方法は以下のとおりです。

- CLSD

同一グループ内の CLSK が以下の時、CLSD のフィールド値を切り出す。

- DC
- DC17
- DC18
- DC19
- DC20
- DC21
- DC22
- DC23

正規化する。正規化は以下のように行う。

- / (スラッシュ) を除去する
- . (ピリオド) はそのまま残す。

桁補正を行う。

- . (ピリオド) 以前が 3 桁未満の場合、先頭から 0 を詰めて 3 桁にする。

■FTITLEKEY 作成仕様

FTITLEKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。

INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

FTITLEKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- BOOK
- RECON
- SERIAL
- JPMARC
- JPMARCS
- TRCMARC
- USMARC
- USMARCS
- USMARCX
- GPOMARC
- UKMARC
- DNMARC
- CHMARC
- KORMARC
- TITLE
- USMARCT

FTITLEKEY の作成対象フィールドは、以下のとおりです。

- BOOK、RECON、SERIAL、JPMARC、JPMARCS、TRCMARC、USMARC、USMARCS、USMARCX、GPOMARC、UKMARC、DNMARC、CHMARC
 - TDR
 - TRR
 - TRVR
- TITLE、USMARCT
 - HDNGD
 - HDNGR
 - HDNGVR

●インデクス作成手順

1. BOOK、RECON、SERIAL、JPMARC、JPMARCS、TRCMARC、USMARC、USMARCS、USMARCX、GPOMARC、UKMARC、DNMARC、CHMARC

1. TRD、TRR と TRVR の先頭から以下の条件までの間の文字列を切り出す。以下の条件がない場合はすべてを切り出す。(△はスペースを示す。)
 - △／△
 - △：△
 - △＝△
 - △；△
 - △. △
 - . △(SERIAL、JPMARCS、USMARCS のみ)
2. 切り出された文字列を以下の様に正規化を行う。
 - すべての記号を取る詰めする。(スペース、カナの長音も含む)
 - 仮名小文字はすべて仮名大文字とします。
 - 平仮名、片仮名はすべて全角片仮名とします。
 - EXC 文字は対応するローマ字にする。
 - 英文字はすべて英大文字の半角とする。
3. 正規化を行った文字列を FTITLEKEY とします。1レコードに対して同じ FTITLEKEY が作成された場合は1つに統合する。32 文字を超える部分は切り捨てる。

2. TITLE、USMARCT

1. HDNGD、HDNGR、HDNGVR の以下の条件から最後まで文字列を切り出す。以下の条件がない場合は、全てを切り出す。
△ー△
2. 切り出された文字列を以下の様に正規化を行う。
 - すべての記号を取る詰めする。(スペース、カナの長音も含む)
 - 仮名小文字はすべて仮名大文字とします。
 - 平仮名、片仮名はすべて全角片仮名とします。
 - EXC 文字は対応するローマ字にする。
 - 英文字はすべて英大文字の半角とします。
3. 正規化を行った文字列を FTITLEKEY とします。1レコードに対して同じ FTITLEKEY が作成された場合は1つに統合する。32 文字を超える部分は切り捨てる。

■ISBNKEY 作成仕様

ISSNKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

ISBNKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- BOOK
- RECON
- JPMARC
- TRCMARC
- USMARC
- USMARCX
- GPOMARC
- UKMARC
- DNIMARC
- CHMARC
- KORMARC

ISBNKEY の作成対象フィールドは、以下のとおりです。

- ISBN
- XISBN

フィールド値そのものをインデクスとします。

■ISSNKEY 作成仕様

ISSNKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

ISSNKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- BOOK
- RECON
- SERIAL
- JPMARC
- JPMARCS
- TRCMARC
- USMARC
- USMARCS
- USMARCX
- GPOMARC
- UKMARC
- DNIMARC

- CHMARC
- KORMARC

ISSNKEY の作成対象フィールドは、以下のとおりです。

- ISSN
- XISSN(SERIAL、JPMARCS、USMARCS のみ)

フィールド値そのものをインデクスとします。

■LANGKEY 作成仕様

LANGKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

LANGKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- BOOK
- RECON
- SERIAL
- JPMARC
- JPMARCS
- TRGMARC
- USMARC
- USMARCS
- USMARCX
- GPOMARC
- UKMARC
- DNMARC
- CHMARC
- KORMARC

LANGKEY の作成対象フィールドは、以下のとおりです。

- TTLL
- TXTL
- ORGL

各フィールドからの作成方法は以下のとおりです。

- TTLL
フィールド値そのものをインデクスとします。
- TXTL
フィールド値を先頭から 3 文字ずつ区切ってインデクスとします。
- ORGL
フィールド値を先頭から 3 文字ずつ区切ってインデクスとします。



追加

■LOCKEY 作成仕様

LOCKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

LOCKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- BHOLD

- SHOLD

LOCKEY の作成対象フィールドは、以下のとおりです。フィールド値そのものを組み合わせてインデクスとします。

- 参加組織レコード ID (FANO) + 配置コード (LOG)

■NDCKEY 作成仕様

NDCKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

NDCKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- BOOK
- RECON
- JPMARC
- TRCMARC
- USMARC
- USMARCX
- GPOMARC
- UKMARC
- DNMARC
- CHMARC
- KORMARC

NDCKEY の作成対象フィールドと作成方法は以下のとおりです。

- CLSD
同一グループ内の CLSK が以下の時、CLSD のフィールド値を切り出す。
 - NDC
 - NDC6
 - NDC7
 - NDC8
 - NDC9

正規化する。正規化は以下のように行う。

- / (スラッシュ) を除去する
- . (ピリオド) はそのまま残す。

桁補正を行う。

- . (ピリオド) 以前が 3 桁未満の場合、先頭から 0 を詰めて 3 桁にする。

■OTHNKEY 作成仕様

OTHNKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できない

レコードについても、DB への追加時に作成されています。

OTHNKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- BOOK
- RECON
- JPMARC
- TRCMARC
- USMARC
- USMARCX

- GPOMARC
- UKMARC
- DNMARC
- CHMARC
- KORMARC

OTHNKEY の作成対象フィールドと作成方法は以下のとおりです。

- OTHN
最初のコロンの以降を切り出す。もしコロンがない場合はフィールド値全てを切り出す。
以下のような処理を行う。
 - － 空白、ハイフン、丸括弧、スラッシュを除去する。
 - － データの末尾の文字列「(STRN)」 「(XSTRN)」を除去する。

デリミタごとにインデクスを切り出す。

■PLACEKEY 作成仕様

PLACEKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

PLACEKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- NAME
- JPMARCA
- UKMARCA

PLACEKEY の作成対象フィールドと作成方法は以下のとおりです。

- PLACE
フィールド値をデリミタごとに切り出す。
切り出した語を正規化する。
ストップワードはインデクスとしない。
PLACEKEY の最大長は 32 文字なので、それ以上の文字列は切り捨てる。
PLACEKEY の最大繰り返し数は 32 なので、32 に達した時点でそれ以上のインデクスは作成しない。

■PUBPKEY 作成仕様

PUBPKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

PUBPKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- BOOK
- RECON
- SERIAL
- JPMARC
- JPMARCS
- TRGMARC
- USMARC
- USMARCS
- USMARCX
- GPOMARC
- UKMARC
- DNMARC
- CHMARC
- KORMARC

PUBPKEY の作成対象フィールドと作成方法は以下のとおりです。

- **PUBP**

フィールド値をデリミタごとに切り出す。

切り出した語を正規化する。

ストップワードはインデクスとしない。

PUBPKEY の最大長は 32 文字なので、それ以上の文字列は切り捨てる。

PUBPKEY の最大繰り返し数は 32 なので、32 に達した時点でそれ以上のインデクスは作成しない。

■PUBLKEY 作成仕様

PUBLKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

PUBLKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- **BOOK**
- **RECON**
- **SERIAL**
- **JPMARC**
- **JPMARCS**
- **TRCMARC**
- **USMARC**
- **USMARCS**
- **USMARCSX**
- **GPOMARC**
- **UKMARC**
- **DNMARC**
- **CHMARC**
- **KORMARC**

PUBLKEY の作成対象フィールドと作成方法は以下のとおりです。

- **PUBL**

フィールド値をデリミタごとに切り出す。

切り出した語を正規化する。

ストップワードはインデクスとしない。

PUBLKEY の最大長は 32 文字なので、それ以上の文字列は切り捨てる。

PUBLKEY の最大繰り返し数は 32 なので、32 に達した時点でそれ以上のインデクスは作成しない。

■SHKEY 作成仕様

SHKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

SHKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- **BOOK**
- **RECON**
- **SERIAL**
- **JPMARC**
- **JPMARCS**
- **TRCMARC**
- **USMARC**
- **USMARCS**
- **USMARCSX**
- **GPOMARC**
- **UKMARC**

- DNARC
- CHARC
- KORMARC

SHKEY の作成対象フィールドと作成方法は以下のとおりです。

- SHD
- SHR
- SHVR



フィールド値をデリミタごとに切り出す。
 切り出した語を正規化する。
 ストップワードはインデクスとしない。
 SHKEY の最大長は 32 文字なので、それ以上の文字列は切り捨てる。
 SHKEY の最大繰り返し数は 255 なので、255 に達した時点でそれ以上のインデクスは作成しない。

■TIMEKEY 作成仕様

TIMEKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

TIMEKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- NAME
- JPMARCA
- UKMARCA

TIMEKEY の作成対象フィールドと作成方法は以下のとおりです。

- DATE
 フィールド値をデリミタごとに切り出す。
 切り出した語を正規化する。
 ストップワードはインデクスとしない。
 TIMEKEY の最大長は 32 文字なので、それ以上の文字列は切り捨てる。
 TIMEKEY の最大繰り返し数は 32 なので、32 に達した時点でそれ以上のインデクスは作成しない。

■TITLEKEY 作成仕様

TITLEKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて以下のフィールドから作成されます。

INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

- TRD
- TRR
- TRVR
- VTD
- VTR
- VTVR
- CWT
- CWR
- CWVR
- PTBTR
- PTBTRR
- PTBTRVR
- PTBNO
- UTHDNG
- UTHDNGR
- UTHDNGVR
- HDNGD



- HDNGR
- HDNGVR
- SFD
- SFR
- SFVR
- SAFD
- SAFR
- SAFVR

それぞれのフィールドについて以下のように語の切り出しを行ない、正規化して TITLEKEY とします。

なお、TITLEKEY 作成時には以下の条件が適用されます。

ストップワードは TITLEKEY とならない。

- TITLEKEY の最大長は 32 文字なのでそれより長い文字列はそこでカットされる。
- 最大繰り返し数は 512 回なので、512 に達した時点でそれ以上の TITLEKEY は作成されない。

注: △は半角スペース。記号は全て半角。

TRD

“△／△”までの部分をデリミタごとに語を切り出す。また、“△／△”以降でも以下の文字列が出現した場合、“△／△”までの部分について、語の切り出しを開始する。

△. △

△=△

なお、“△=△／△”のような場合、“△=△”の後に“△／△”が出現したと判断する。

TRR、**TRVR** 

デリミタごとに語を切り出す。

TRD と TRR

TRD の TITLEKEY を作成する部分を、TRR の語分割を参考にして切り出す。

VTD

デリミタごとに語を切り出す。

VTR、**VTVR** 

デリミタごとに語を切り出す。

VTD と VTR

VTD の TITLEKEY を作成する部分を、VTR の語分割を参考にして切り出す。

CWT

デリミタごとに語を切り出す。

CWR

デリミタごとに語を切り出す。

CWT と CWTR

CWT の TITLEKEY を作成する部分を、CWR の語分割を参考にして切り出す。

PTBTR

JPMARC、TRCMARC、USMARC、USMARCX、GPOMARC、UKMARC の場合のみ切り出しを行なう。

“△／△”までの部分をデリミタごとに語を切り出す。また、“△／△”以降でも以下の文字列が出現した場合、“△／△”までの部分について、語の切り出しを開始する。

△. △

△=△

なお、“△=△／△”のような場合、“△=△”の後に“△／△”が出現したと判断する。

PTBTRR, **PTBTRVR**

追加

JPMARC、TRCMARC、USMARC、USMARCX、GPOMARC、UKMARC の場合のみ切り出しを行なう。

デリミタごとに語を切り出す。

PTBTR と PTBTRR

JPMARC、TRCMARC、USMARC、USMARCX、GPOMARC、UKMARC の場合のみ切り出しを行なう。

PTBNO

“△／△”までの部分をデリミタごとに語を切り出す。また、“△／△”以降でも以下の文字列が出現した場合、“△／△”までの部分について、語の切り出しを開始する。

△. △

△=△

||

△;△

{△が出現した場合は△}が出現するまで、△;△は無視する。

なお、“△=△／△”のような場合、“△=△”の後に“△／△”が出現したと判断する。

UTHDNG

デリミタごとに語を切り出す。但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△--△

UTHDNGR, **UTHDNGVR**

追加

デリミタごとに語を切り出す。但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△--△

UTHDNG と UTHDNGR

UTHDNG の TITLEKEY を作成する部分を、UTHDNGR の TITLEKEY を切り出す部分の語分割を参考にして切り出す。但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△――△

HDNGD

TITLE、USMARCT の場合のみ切り出しを行なう。

デリミタごとに語を切り出す。但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△――△

HDNGR、**HDNGVR**

追加

TITLE、USMARCT の場合のみ切り出しを行なう。

デリミタごとに語を切り出す。但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△――△

HDNGD と HDNGR

TITLE、USMARCT の場合のみ切り出しを行なう。

HDNGD の TITLEKEY を作成する部分を、HDNGR の TITLEKEY を切り出す部分の語分割を参考にして切り出す。但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△――△

SFD

TITLE、USMARCT の場合のみ切り出しを行なう。

但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△――△

SFR、**SFVR**

TITLE、USMARCT の場合のみ切り出しを行なう。

但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△――△

赤枠
追加

SFD と SFR

TITLE、USMARCT の場合のみ切り出しを行なう。

SFD の TITLEKEY を作成する部分を、SFR の TITLEKEY を切り出す部分の語分割を参考にして切り出す。但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△――△

SAFD

TITLE、USMARCT の場合のみ切り出しを行なう。

但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△――△

SAFR、SAFVR

TITLE、USMARCT の場合のみ切り出しを行なう。

但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△――△

SAFD と SAFR

TITLE、USMARCT の場合のみ切り出しを行なう。

SAFD の TITLEKEY を作成する部分を、SAFR の TITLEKEY を切り出す部分の語分割を参考にして切り出す。但し、以下の文字列が出現する場合、それ以前は切り出さない。

△――△

■YEARKEY 作成仕様

YEARKEY はレコードの INSERT、UPDATE 時にサーバにて作成されます。INSERT、UPDATE できないレコードについても、DB への追加時に作成されています。

YEARKEY 作成対象テーブルは以下のとおりです。

- BOOK
- RECON
- SERIAL
- JPMARC
- JPMARCS
- TRCMARC
- USMARC
- USMARCS
- USMARCX
- GPOMARC
- UKMARC
- DNMARC
- CHMARC
- KORMARC

YEARKEY の作成対象フィールドは、以下のとおりです。

- YEAR1
- YEAR2

フィールド値そのものをインデクスとします。

	誤	正
付録.D 特殊文字・記号・ストップワード ■踊り文字 (p. 272)	NVT コード	UCS コードへ変更 ※ <u>付録.D 特殊文字・記号・ストップワード</u> 参照
■デリミタ (p. 272)	NVT コード	UCS コードへ変更 ※ <u>付録.D 特殊文字・記号・ストップワード</u> 参照

付録.D 特殊文字・記号・ストップワード

ここでは、目録システムにおいて特別な扱いをされる、以下の文字・記号について説明します。

1.アラビア数字、及びローマ字(2 バイトコード)

2.EXC 文字(2 バイトコード)

3.踊り文字(1 バイトコード/2 バイトコード)

4.デリミタ(1 バイトコード/2 バイトコード)

5.ストップワード

1、2 は、データの表示の際に特別な扱いをされる文字種です。

1 は、NVT2 バイトコード文字ですが、他の 2 バイトコード文字とは異なり、NVT1 バイトコード文字にも対応する文字が存在します。

目録システムにおいては、1 バイト/2 バイトの違いにかかわらず両者は同一視され、目録情報の表示形としては 1 バイトコードのほうが採用されます。このため、これらの 2 バイトコード文字は、検索されたレコードのデータ中に現れることはありません。

ヒント

- 目録情報の表示形については、『[コーディングマニュアル](#)』を参照。

2 は、さまざまな言語で記述された文献の目録作業を行う際、表記どおりの記録を可能にするために設計された文字種です。これらの文字は、参加組織側システム、または端末によって表示方法が異なります(2 バイトコードでありながら半角表示が可能な端末があります)。

また、2~5 は、検索用インデクス作成の際、および入力された検索キーの変換の際に特別な扱いをされる文字種です。

検索業務においては、これらの特殊文字・記号を含め、レコードのデータ中の文字列、または入力される検索キーの文字列が、「語」を構成するか否かが問題となります。

アラビア数字、ローマ字、カタカナ、ひらがな、ロシア文字、ギリシャ文字、漢字、特殊アルファベット(を除く)、音標符号付ローマ字、二重音標符号付ローマ字および音標符号付特殊アルファベットは、単独(1 文字)でも語を構成することができます。

踊り文字は、単独で語を構成することはできませんが、語の構成要素にはなり得ます(ただし、「◆」を除き、語の先頭に位置することはありません)。

デリミタは、語の構成要素になることはなく、語と語の区切りとして機能します。

ストップワードは、検索インデクスから除外される語で、具体的には、欧米諸言語における前置詞、冠詞、接続詞のことです。

以下の表に、目録システムにおいて使用される文字の種類を示します。

目録システム用文字セット

	単独で語を構成できるもの	踊り文字	デリミタ	絵文字数
NVT1 バイトコード (JIS X 0201-1997)				158
アラビア数字(数字)	10	-	-	10
ローマ字(ラテン文字)	52	-	-	52
カタカナ(片仮名)	55	-	-	55
記号	-	5	36	41
NVT2 バイトコード (JIS X 0208-1997)				6,877

アラビア数字(数字)	10*	-	-	10
ローマ字(ラテン文字)	52*	-	-	52
カタカナ(片仮名)	86	-	-	86
ひらがな(平仮名)	83	-	-	83
ギリシャ文字	48	-	-	48
(ギリシア文字)				
ロシア文字(キリール文字)	66	-	-	66
漢字	6,355	-	-	6,355
記号	1	13+	133+	147
累計素片	-	-	32	32
NVT2 バイトコード (EXC 文字)				691
音標符号	-	-	29	29
特殊アルファベット	23	-	1	24
音標符号付ローマ字	535	-	-	535
二重音標符号付ローマ字	58	-	-	58
音標符号付特殊 アルファベット	39	-	-	39
制御文字	-	-	6	6
合計	7,471	18	237	7,726

注)

- 「*」の付された文字のうち、NVT1 バイトコード中に対応する文字のあるもの(62 個)は、入力可能であるが、目録情報中表示されることはない。
- 「+」の付された記号のうち、NVT1 バイトコード中に対応する記号のあるもの(41 個)も、入力可能であるが、目録情報中表示されることはない

■EXC 文字

EXC 文字は、検索業務においては、対応するローマ字と同一の文字とみなされます(ただし、音標符号、および制御文字を除く)。ファイル検索においては、EXC 文字を入力しても、対応するローマ字を入力しても同様の結果が得られます。

ただし、対応するローマ字の文字列がストップワードと同一となるような場合は、EXC 文字をそのまま入力することによってのみファイル検索が可能です。

また、特に EXC 文字をデータ中に含むレコードだけを検索するためには、文字列検索において検索キーの特定化を行う必要があります。

■踊り文字

ファイル検索において、語を構成する踊り文字はそのまま入力することによって、当該踊り文字を含む語を持つレコードが検索されます(ただし、長音記号、ダッシュ、ハイフン、負記号は正規化処理により除去されるので、それらの文字を含むとは限らない)。

しかし、踊り文字は AKEY 作成の際には除去されます。つまり、AKEY 作成の際、データ中の踊り文字は「トルツメ」処理されます。このため、AKEY で検索する場合は、踊り文字を文字数の計算に含めないよう注意する必要があります(ただし、濁点、および半濁点は除去の対象外です)。

以下の表に、踊り文字一覧を示します。

UCS コード ^①	表示形	名称
0027	'	アポストロフィー
002D	-	ハイフンマイナス
2010	-	ハイフン
2014	-	ダッシュ



25C6	◆	黒菱形
3005	々	繰返し記号
309B	ゝ	濁点
309C	゜	半濁点
309D	ゝ	平仮名繰返し記号
309E	ゞ	平仮名繰返し記号濁点
30FC	ー	長音記号
30FD	ゝ	片仮名繰返し記号
30FE	ゞ	片仮名繰返し記号濁点

■デリミタ

ファイル検索においては、デリミタは検索の対象となりません。

デリミタ(空白は除きます)をデータ中に含むレコードを検索するためには、文字列検索において検索キーの特定化を行う必要があります。

UCS コード	表示形	名称
0020		間隔、空白、スペース
0021	!	感嘆符
0022	"	引用符、ウムラウト
0023	#	番号記号、井げた、シャープ
0024	\$	ドル記号
0025	%	パーセント
0026	&	アンパサンド
0028	(始め小括弧、始め丸括弧
0029)	終わり小括弧、終わり丸括弧
002A	*	星印、アスタリスク
002B	+	正記号、加算記号、プラス
002C	,	コンマ
002E	.	ピリオド
002F	/	斜線、スラント、スラッシュ
003A	:	コロロン
003B	;	セミコロロン
003C	<	不等号(より小さい)
003D	=	等号、イコール
003E	>	不等号(より大きい)
003F	?	疑問符
0040	@	単価記号、アットマーク
005B	[始め大括弧、始め角括弧
005C	¥	円記号
005D]	終わり大括弧、終わり角括弧
005E	^	論理否定、アクサンシルコンフレックス
005F	_	アンダーライン
0060	`	アクセント、アクサングラブ???
007B	{	始め中括弧
007C		縦線、ストローク
007D	}	終わり中括弧
00A1	¡	逆感嘆符



00A2	¢	セント記号
00A3	£	ポンド記号
00A4	⊠	不特定通貨記号
00A5	¥	円記号
00A6	⋮	破断線
00A7	§	節記号
00A8	∞	ウムラウト、ダイエレス
00AB	«	非常に小さい
00AC	¬	否定
00B0	°	度
00B1	±	加減算記号、プラスマイナス
00B4	˘	アクセントギョ
00B5	μ	マイクロ
00B6	¶	段落記号
00BB	»	非常に大きい
00BF	¿	逆疑問符
00D7	×	乗算記号、かける
00F7	÷	除算記号、わる
060C	٫	ARABIC COMMA
061B	؛	ARABIC SEMICOLON
061F	؟	ARABIC QUESTION MARK
066A	٪	ARABIC PERCENT SIGN
066D	*	ARABIC FIVE POINTED STAR
06D4	.	ARABIC FULL STOP
0964		DEVANIGARI DANDA
0965		DEVANIGARI DOUBLE DANDA
09E4		(reserved)
09E5		(reserved)
0A64		(reserved)
0A65		(reserved)
0AE4		(reserved)
0AE5		(reserved)
0B64		(reserved)
0B65		(reserved)
0BE4		(reserved)
0BE5		(reserved)
0C64		(reserved)
0C65		(reserved)
0CE4		(reserved)
0CE5		(reserved)
0D64		(reserved)
0D65		(reserved)
0F0D		TIBETAN MARK SHAD
0F0E		TIBETAN MARK NYIS SHAD
0F0F	¡	TIBETAN MARK TSHEG SHAD
0F10	¡	TIBETAN MARK NYIS TSHEG SHAD
0F11	‡	TIBETAN MARK RIN CHEN SPUNGS SHAD

0F12	†	TIBETAN MARK RGYA GRAM SHAD
104A	ꠄ	MYANMAR SIGN LITTLE SECTION
1B5E	ꦲ	BALINESE CARIK SIKI
1B5F	ꦲ꧀	BALINESE CARIK PAREREN
2016	∥	双柱
2018	‘	左シングル引用符
201C	“	左ダブル引用符
2020	†	ダガー
2021	‡	ダブルダガー
2025	⋯	二点リーダ
2026	⋯	三点リーダ
2030	‰	パーミル
203B	※	米印
203E	-	オーバーライン
2103	°C	セ氏度記号
212B	Å	オングストローム
2190	←	左向矢印
2191	↑	上向矢印
2192	→	右向矢印
2193	↓	下向矢印
21D2	⇒	ならば(含意)
21D4	⇔	同値
2200	∀	全ての(普通限定子)
2202	∅	デル、ラウンドディー
2203	∃	存在する(存在限定子)
2207	∇	ナブラ
2208	∈	属する
220B	⊃	元として含む
221A	√	根号、ルート
221D	∞	比例
221E	∞	無限大
2220	∠	角
2227	∧	及び(合接)
2228	∨	又は(隣接)
2229	∩	共通集合
222A	∪	合併集合
222B	∫	積分記号
222C	∫∫	二重積分記号
2234	∴	ゆえに
2235	∵	なぜならば
223D	∞	相似
2252	≈	ほとんど等しい
2260	≠	等号否定
2261	≡	常に等しい、合同
2266	≤	より小さいか又は等しい
2267	≥	より大きいか又は等しい
226A	⋈	始め二重山括弧

226B	»	終わり二重山括弧
2282	⊂	真部分集合
2283	⊃	真部分集合を元として含む
2286	⊆	部分集合
2287	⊇	部分集合を元として含む
22A5	⊥	垂直
2312	⤿	弧
2500	—	横細線素片
2501	—	横太線素片
2502		縦細線素片
2503		縦太線素片
250C	┌	細線素片左上
250F	┐	太線素片左上
2510	┐	細線素片右上
2513	┐	太線素片右上
2514	└	細線素片左下
2517	└	太線素片左下
2518	┘	細線素片右下
251B	┘	太線素片右下
251C	┌	細線素片左
251D	┌	縦細線横太線素片左
2520	┌	縦太線横細線素片左
2523	┌	太線素片左
2524	┐	細線素片右
2525	┐	縦細線横太線素片右
2528	┐	縦太線横細線素片右
252B	┐	太線素片右
252C	└	細線素片上
252F	└	横太線縦細線素片上
2530	└	横細線縦太線素片上
2533	└	太線素片上
2534	┘	細線素片下
2537	┘	横太線縦細線素片下
2538	┘	横細線縦太線素片下
253B	┘	太線素片下
253C	+	細線素片中央
253F	+	縦太線横細線素片中央
2542	+	横細線縦太線素片中央
254B	+	太線素片中央
25A0	■	黒四角
25A1	□	四角
25B2	▲	黒三角
25B3	△	三角
25BC	▼	逆黒三角
25BD	▽	逆三角
25C7	◇	菱形
25CB	○	白丸

25CE	◎	二重丸
25CF	●	黒丸
25EF	○	合成用丸
2605	★	黒星
2606	☆	白星
2640	♀	雌記号
2642	♂	雄記号
266A	♪	音符
266D	♭	フラット
266F	♯	シャープ
3001	、	読点
3002	。	句点
3003	〃	同じく記号
3006	↵	しめ
3008	〈	始め山括弧
3009	〉	終わり山括弧
300A	《	始め二重山括弧
300B	》	終わり二重山括弧
300C	「	始めかぎ括弧
300D	」	終わるかぎ括弧
300E	『	始め二重かぎ括弧
300F	』	終わり二重かぎ括弧
3010	【	始めすみ付き括弧
3011	】	終わりすみ付き括弧
3012	〒	郵便記号
3013	=	げた記号
3014	[始め亀甲括弧
3015]	終わり亀甲括弧
301C	~	波ダッシュ
30FB	・	中点
4EDD	全	同上記号
A876		PHAGS-PA MARK SHAD
A877		PHAGS-PA MARK DOUBLE SHAD
A8CE		SAURASHTRA DANDA
A8CF		SAURASHTRA DOUBLE DANDA
AA5D)	CHAM PUNCTUATION DANDA
AA5E)	CHAM PUNCTUATION DOUBLE DANDA
AA5F)	CHAM PUNCTUATION TRIPLE DANDA
ABEB		MEETEI MAYEK CHEIKHEI
10A56		KHAROSHTHI PUNCTUATION DANDA

10A57	॥	KHAROSHTHI PUNCTUATION DOUBLE DANDA
11047		BRAHMI DANDA
11048	॥	BRAHMI DOUBLE DANDA
110C0	।	KAITHI DANDA
110C1	॥	KAITHI DOUBLE DANDA

■ストップワード

ストップワードとは、検索用インデクスから除外される語のことで、欧米諸言語の前置詞、冠詞、接続詞等を指します。

これらの語は、次の理由により、ストップワードに指定されています。

- これらの語を検索用インデクスとする場合、レコードの総データ量の点でシステムに負担がかかることになる。

以下の表に、ストップワード一覧を示します。

本表は、目録システムにおいて、すべての言語に対して、大文字／小文字の別に関わらず適用されます。

これらの語に音標符号が付いている場合は、ストップワードではありません。また、「FUR」及び「UBER」は、ストップワードではありません。

A	DEL	I	POUR
AC	DELLA	IL	PRI
AF	DELLE	IM	SI
AL	DELLO	IN	SUR
ALE	DEM	INS	TE
ALS	DEN	INTO	THE
AM	DER	IZ	TO
AMONG	DES	JA	U
AN	DET	LA	ÜBER
AND	DI	LAS	UN
ANS	DIE	LE	UND
AS	DIN	LES	UNE
AT	DO	LO	UPON
AU	DU	LOS	V
AUF	DURCH	MIT	VAN
AUFS	DURCHS	NA	VE
AUS	E	NACH	VED
AUX	EIN	O	VON
AV	EINE	OCH	VOOR
AVEC	EINEM	ODER	WITH
BEFORE	EINER	OF	Y
BEI	EL	OG	Z
BEIM	EM	OM	ZA
BETWEEN	EN	ON	ZU
BY	ENTRE	OP	ZUM
CON	ES	OR	ZUR

DA	ET	OU	
DANS	ETC	OVER	
DAS	FOR	PARA	
DE	FRA	PER	
DEGLI	FÜR	PO	
DEI	HET	POR	